

# 岩沼市結婚・出産に関するアンケート調査

## 報 告 書

平成 27 年 10 月



宮城県岩沼市

## 目 次

1. 調査概要.....	1
(1) 調査の目的.....	1
(2) 調査の実施概要.....	1
(3) 回収状況.....	1
(4) 報告書中の表記.....	1
2. 回答者の属性.....	2
3. 設問別調査結果.....	4
(1) 結婚に関する意識について.....	4
(2) 妊娠、出産、子育てに関する意識について.....	26
4. まとめ.....	37
【参考資料】.....	38
1. 自由回答.....	38
2. アンケート調査票.....	48

## 1. 調査概要

### (1) 調査の目的

市では地域課題の総合的解決と魅力あふれる地方創生を実現するため、「岩沼市まち・ひと・しごと創生総合戦略～地産地生のまちづくり」を策定。

本調査は、市民の結婚と出産に関する実情や背景を調査し、上記戦略の基礎資料とすることを目的として実施したもの。

### (2) 調査の実施概要

- ①実施主体：宮城県岩沼市総務部政策企画課
- ②実施対象：市内に住む 18 歳以上の男女（住民基本台帳から 1,000 名を無作為抽出）
- ③実施時期：平成 27 年 7 月 7 日配布、平成 27 年 7 月 21 日回収
- ④実施方法：郵送配布、郵送回収

### (3) 回収状況

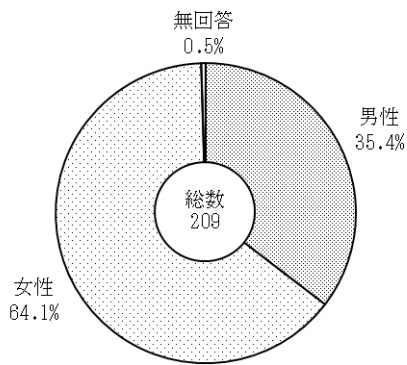
- ①有効配布数：999 票（宛先不明：1 票）
- ②有効回収数：209 票
- ③有効回収率：20.9%

### (4) 報告書中の表記

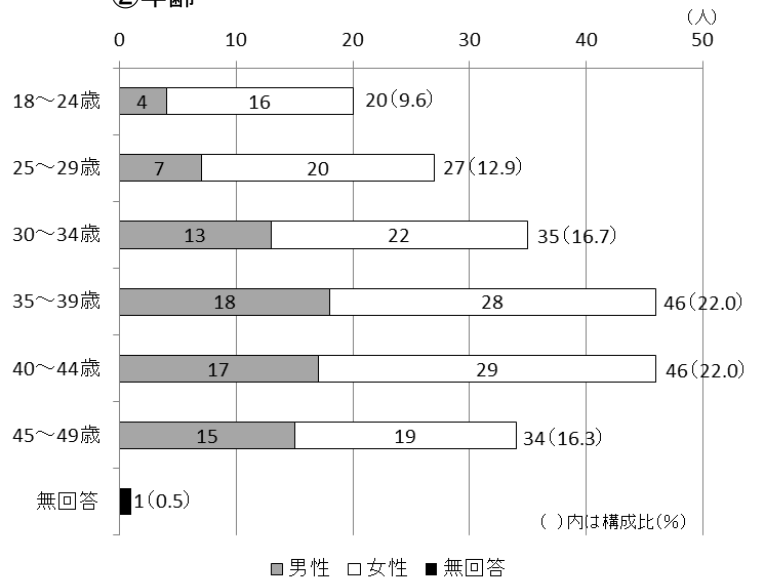
- ・本報告書では、集計結果の数値を、特に断りのないかぎり、小数点以下第 2 位で四捨五入している。そのため、各回答の合計が 100%に一致しないことがある。
- ・複数回答の設問については、回答者数を母数として回答比率を算出しているため、回答比率の合計は 100%を超える。
- ・複数回答を集計する際に、下記のように回答順に重みをつけて集計している場合がある。
  - （2つを回答する場合）  
1 番目に 2 ポイント、2 番目に 1 ポイントを乗じて集計
  - （3つを回答する場合）  
1 番目に 3 ポイント、2 番目に 2 ポイント、3 番目に 1 ポイントを乗じて集計
- ・集計表において、最も回答の多い項目、2 番目に回答の多い項目を着色している場合がある。なお、母数が 10 に満たない場合は着色表示は行っていない。

## 2. 回答者の属性

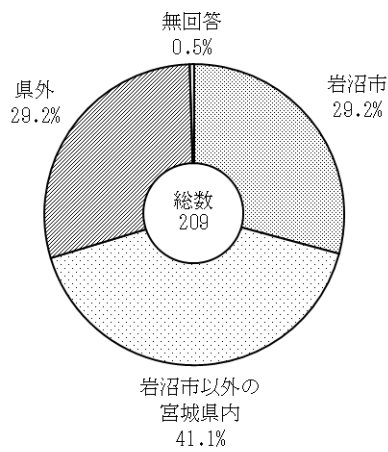
### ①性別



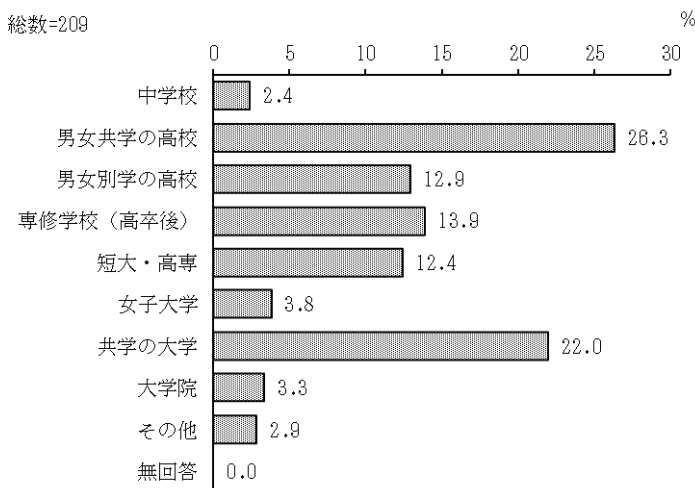
### ②年齢



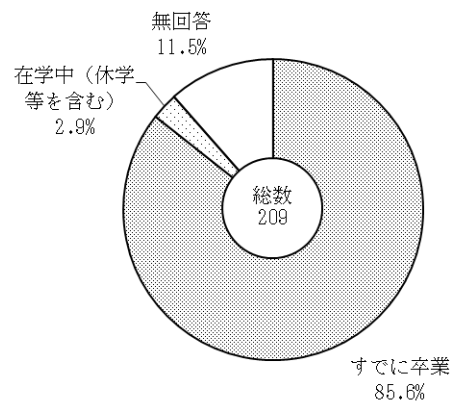
### ③出生地



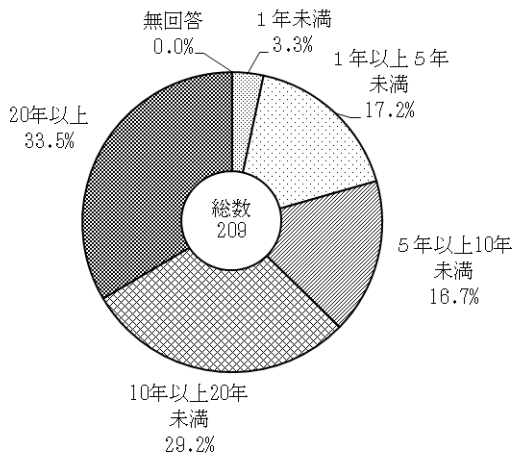
### ④-1 最終学歴



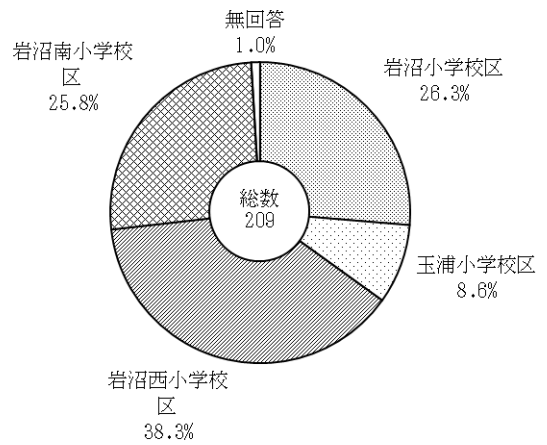
### ④-2 卒業の有無



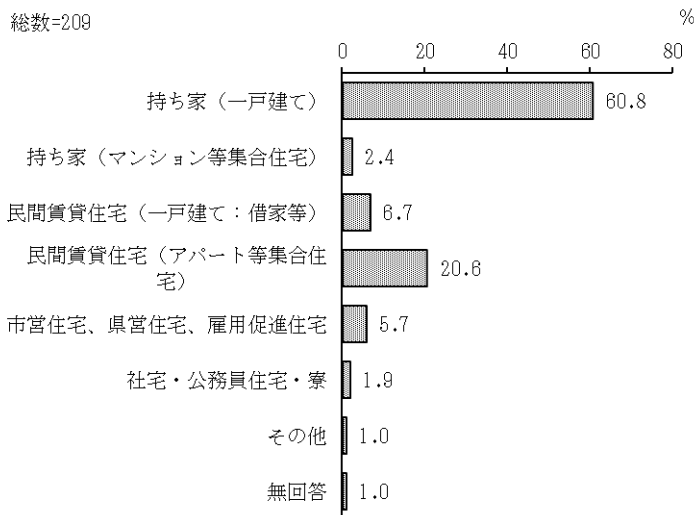
### ⑥居住年数



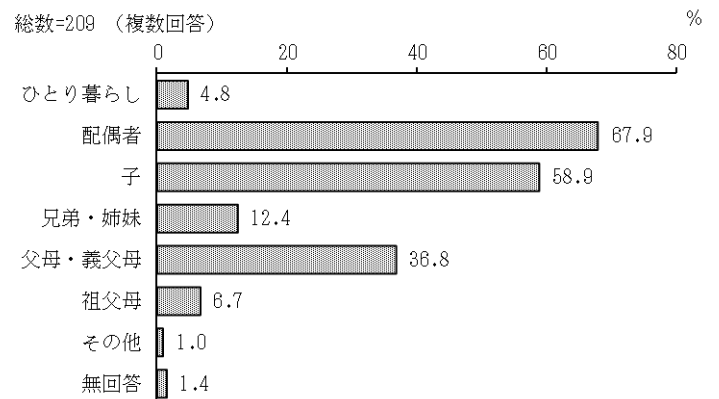
### ⑦居住地区



### ⑦居住形態



### ⑧家族構成



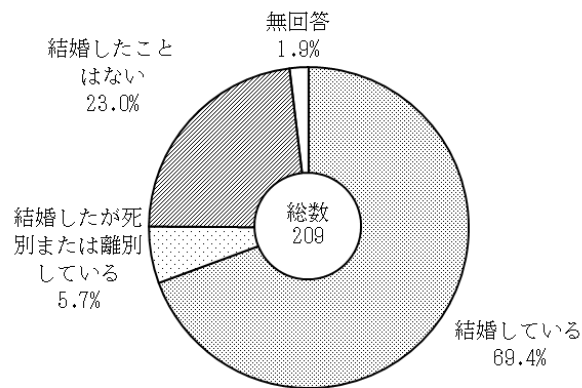
### 3. 設問別調査結果

#### (1) 結婚に関する意識について

##### ①結婚の有無

問9. あなたは現在結婚していますか。該当する番号1つを○で囲んでください。

- ・現在、結婚している人は69.4%、未婚者は23.0%、死別又は離別を合わせた独身者は28.7%を占めている。
- ・年齢別にみると、25～29歳で既婚、未婚の割合がほぼ半数となり、30歳を超えると既婚者の割合が高くなっている。
- ・最終学歴別にみると、学歴が上がるにつれて、「結婚したことはない」の占める割合が高くなっている。



問9. 結婚の有無

上段:実数、下段:構成比

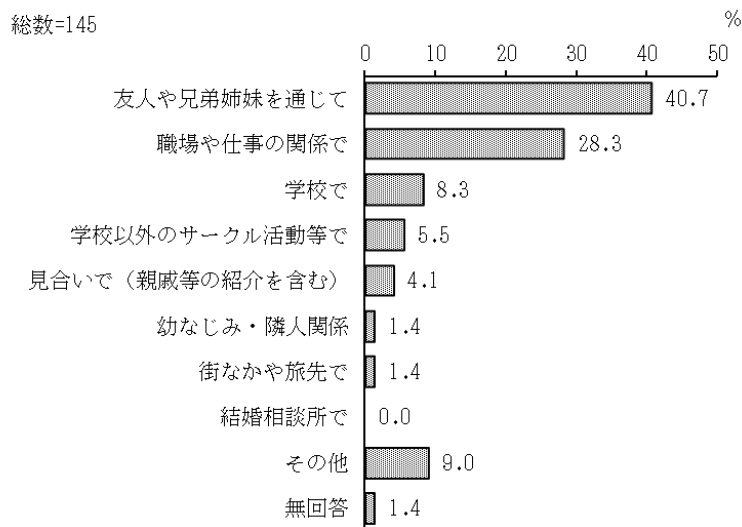
		全体	結婚している	結婚した が死別 している	結婚した ことは ない	無回答
全体		209 100.0	145 69.4	12 5.7	48 23.0	4 1.9
年齢	18~24歳	20 100.0	2 10.0	-	18 90.0	-
	25~29歳	27 100.0	14 51.9	-	13 48.1	-
	30~34歳	35 100.0	25 71.4	2 5.7	7 20.0	1 2.9
	35~39歳	46 100.0	34 73.9	6 13.0	5 10.9	1 2.2
	40~44歳	46 100.0	38 82.6	3 6.5	4 8.7	1 2.2
	45~49歳	34 100.0	31 91.2	1 2.9	1 2.9	1 2.9
	無回答	1 100.0	1 100.0	-	-	-
最終学歴	中学校	5 100.0	4 80.0	-	-	1 20.0
	男女共学の高校	55 100.0	42 76.4	5 9.1	7 12.7	1 1.8
	男女別学の高校	27 100.0	21 77.8	2 7.4	3 11.1	1 3.7
	専修学校（高卒後）	29 100.0	22 75.9	2 6.9	5 17.2	-
	短大・高専	26 100.0	19 73.1	1 3.8	6 23.1	-
	女子大学	8 100.0	3 37.5	-	5 62.5	-
	共学の大学	46 100.0	28 60.9	1 2.2	16 34.8	1 2.2
	大学院	7 100.0	4 57.1	-	3 42.9	-
	その他	6 100.0	2 33.3	1 16.7	3 50.0	-
	無回答	- *	- *	- *	- *	- *

②既婚者の意識

1) 夫婦が知り合うきっかけ

問 10. 問9で1) に○をつけた方（結婚している方）に伺います。ご夫婦が知り合ったきっかけは何ですか。該当する番号1つを○で囲んでください。

- ・知り合うきっかけは、「友人や兄弟姉妹を通じて」（40.7%）が最も多く、次いで「職場や仕事の関係で」（28.3%）となっており、この2つで約7割を占めている。
- ・一方、一方、「結婚相談所で」と回答した人はおらず、「見合いで（親戚等の紹介を含む）」を選んだ人も全体の1割に満たない。
- ・その他では、「インターネット」や「SNS」「メル友」などの回答が多かった。
- ・年齢別にみると、各年代とも「友人や兄弟姉妹を通じて」の占める割合が高いが、45歳を超えると「職場や仕事の関係で」の占める割合が高くなっている。



問10. 夫婦が知り合ったきっかけ

上段:実数、下段:構成比

年齢	全体	きっかけ									
		学校で	職場や仕事の関係で	幼なじみ・隣人関係	学校以外のサークル活動等で	友人や兄弟姉妹を通じて	見合いで（親戚等の紹介を含む）	結婚相談所で	街なかや旅先で	その他	無回答
全体	145 100.0	12 8.3	41 28.3	2 1.4	8 5.5	59 40.7	6 4.1	-	2 1.4	13 9.0	2 1.4
18～24歳	2 100.0	-	-	-	-	1 50.0	-	-	1 50.0	-	-
25～29歳	14 100.0	2 14.3	-	-	1 7.1	11 78.6	-	-	-	-	-
30～34歳	25 100.0	2 8.0	7 28.0	-	1 4.0	10 40.0	-	-	-	4 16.0	1 4.0
35～39歳	34 100.0	4 11.8	11 32.4	1 2.9	1 2.9	14 41.2	1 2.9	-	-	1 2.9	1 2.9
40～44歳	38 100.0	2 5.3	10 26.3	1 2.6	2 5.3	16 42.1	2 5.3	-	-	5 13.2	-
45～49歳	31 100.0	2 6.5	13 41.9	-	3 9.7	7 22.6	3 9.7	-	1 3.2	2 6.5	-
無回答	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0	-

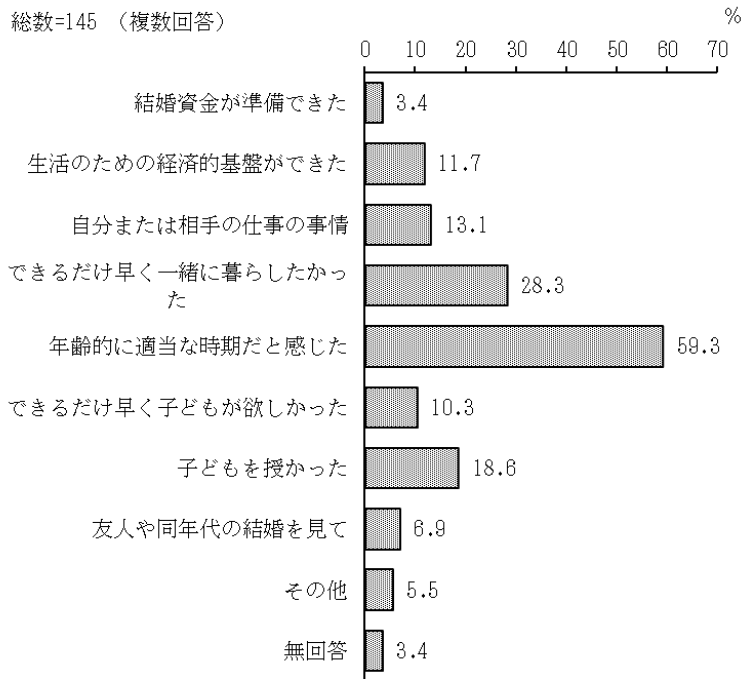
最も回答の多い項目  
2番目に回答の多い項目



2) 結婚を決めた直接のきっかけ

問 11. 結婚を決めた直接のきっかけは何ですか。該当する番号2つまでを選び、最も近い順に並べてください。

- 結婚を決めたきっかけは、「年齢的に適当な時期だと感じた」(59.3%) が最も多く、次いで「できるだけ早く一緒に暮らしたかった」(28.3%)、「子どもを授かった」(18.6%) の順となっている。
- 回答順に重みをつけて集計してもこの傾向に変わりはない。
- 年齢別にみると、どの年代でも「年齢的に適当な時期だと感じた」の占める割合が高いが、30歳を超えると「できるだけ早く一緒に暮らしたかった」の占める割合が高くなっている。
- 経済的な要因に着目すると、「結婚資金が準備できた」と回答する人(3.4%)よりも、「生活のための経済的基盤ができた」と回答する人(11.7%)の方が多。また、20代ではこの2つの選択肢を選択した人はおらず、30代を過ぎると結婚を決めた理由にあげる人が出てくる。



問11. 結婚を決めた直接のきっかけ【1~2位】 【2つまでの複数回答】 上段:実数、下段:構成比

	全体	結婚資金が準備できた	生活のための経済的基盤ができた	自分または相手の仕事の事情	できるだけ早く一緒に暮らしたかった	年齢的に適当な時期だと感じた	子どもが欲しかった	子どもを授かった	友人や同年代の結婚を見て	その他	無回答
		実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比
全体	145	5	17	19	41	86	15	27	10	8	5
	100.0	3.4	11.7	13.1	28.3	59.3	10.3	18.6	6.9	5.5	3.4
年齢	18~24歳	2	-	-	-	1	-	1	2	-	-
		100.0	-	-	-	50.0	-	50.0	100.0	-	-
	25~29歳	14	-	-	-	2	7	1	7	1	2
		100.0	-	-	-	14.3	50.0	7.1	50.0	7.1	14.3
	30~34歳	25	2	3	2	8	18	3	4	-	1
		100.0	8.0	12.0	8.0	32.0	72.0	12.0	16.0	-	4.0
	35~39歳	34	2	5	6	15	17	2	6	-	2
	100.0	5.9	14.7	17.6	44.1	50.0	5.9	17.6	-	5.9	
40~44歳	38	1	2	7	7	22	5	7	4	4	
	100.0	2.6	5.3	18.4	18.4	57.9	13.2	18.4	10.5	10.5	
45~49歳	31	-	7	4	9	21	4	2	3	2	
	100.0	-	22.6	12.9	29.0	67.7	12.9	6.5	9.7	6.5	
無回答	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0

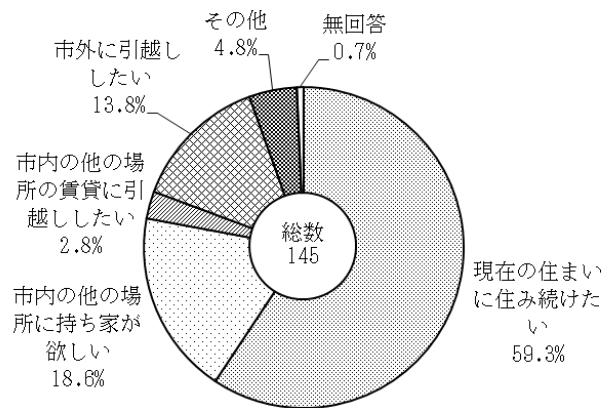
最も回答の多い項目

2番目に回答の多い項目

### 3) 今後の住まいについて

問 12. 今後のお住まいについてどのようにお考えですか。該当する番号1つを○で囲んでください。

- 今後の住まいについては、「現在の住まいに住み続けたい」（59.3%）が最も多く、次いで「市内の他の場所に持ち家が欲しい」（18.6%）、「市外に引越したい」（13.8%）の順となっている。引き続き市内で居住を希望する割合は、全体の約8割を占めている。
- 年齢別にみると、すべての年代で「現在の住まいに住み続けたい」の占める割合が高いが、30代前半までの比較的若い世代で「市外に引越したい」の占める割合が高くなっている。
- 住まいの形態別にみると、持ち家（一戸建て、集合住宅）にお住まいの人はほとんどが「現在の住まいに住み続けたい」と回答しており、民間賃貸や市営住宅にお住まいの人では「市内の他の場所に持ち家が欲しい」の占める割合が高い。
- 地区別にみると、いずれの地区においても「現在の住まいに住み続けたい」の占める割合が高いが、どの地区においても「市外に引越したい」が1～2割弱を占めている。



問12. 今後の住まいについて

上段:実数、下段:構成比

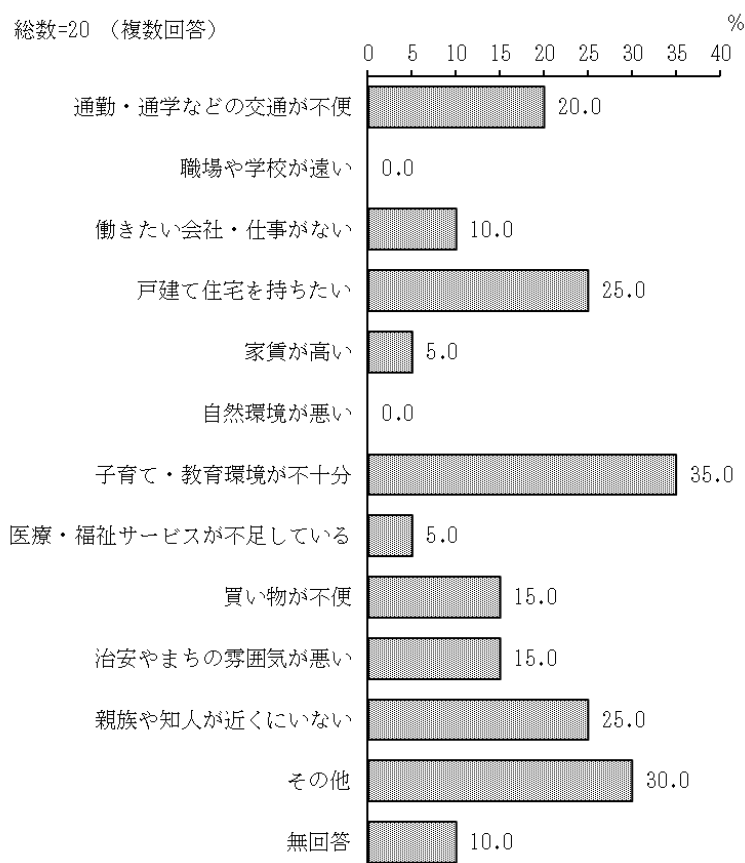
		全体	現在の住まいに住み続けたい	市内の他の場所に持ち家が欲しい	市内の他の場所の賃貸に引越したい	市外に引越したい	その他	無回答
全体		145 100.0	86 59.3	27 18.6	4 2.8	20 13.8	7 4.8	1 0.7
年齢	18~24歳	2 100.0	-	1 50.0	-	1 50.0	-	-
	25~29歳	14 100.0	5 35.7	4 28.6	1 7.1	4 28.6	-	-
	30~34歳	25 100.0	19 76.0	1 4.0	1 4.0	3 12.0	1 4.0	-
	35~39歳	34 100.0	21 61.8	7 20.6	1 2.9	3 8.8	2 5.9	-
	40~44歳	38 100.0	22 57.9	7 18.4	1 2.6	5 13.2	2 5.3	1 2.6
	45~49歳	31 100.0	19 61.3	6 19.4	-	4 12.9	2 6.5	-
	無回答	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-	-
住まいの形態	持ち家（一戸建て）	87 100.0	74 85.1	3 3.4	-	7 8.0	3 3.4	-
	持ち家（マンション等集合住宅）	3 100.0	3 100.0	-	-	-	-	-
	民間賃貸住宅（一戸建て：借家等）	11 100.0	1 9.1	6 54.5	1 9.1	3 27.3	-	-
	民間賃貸住宅（アパート等集合住宅）	33 100.0	8 24.2	12 36.4	2 6.1	7 21.2	4 12.1	-
	市営住宅、県営住宅、雇用促進住宅	7 100.0	-	4 57.1	1 14.3	1 14.3	-	1 14.3
	社宅・公務員住宅・寮	3 100.0	-	2 66.7	-	1 33.3	-	-
	その他	1 100.0	-	-	-	1 100.0	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-
学区	岩沼小学校区	38 100.0	16 42.1	10 26.3	2 5.3	7 18.4	2 5.3	1 2.6
	玉浦小学校区	11 100.0	7 63.6	1 9.1	-	2 18.2	1 9.1	-
	岩沼西小学校区	59 100.0	37 62.7	13 22.0	-	8 13.6	1 1.7	-
	岩沼南小学校区	37 100.0	26 70.3	3 8.1	2 5.4	3 8.1	3 8.1	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-

最も回答の多い項目  
2番目に回答の多い項目

#### 4) 市外に引越したい理由

問 13. 問 12 で 4) に○をつけた方に伺います。市外に引越したい理由は何ですか。該当する番号 3 つまでを選び、最も近い順に並べてください。

- 市外に引越したい理由については、「子育て・教育環境が不十分」（35.0%）が最も多く、次いで「戸建て住宅を持ちたい」「親族や友人が近くにいない」（25.0%）、「通勤・通学などの交通が不便」（20.0%）の順となっている。
- その他の回答では、「地震が怖い」「自宅が仙台市にある」などの意見がみられた。
- 住まいの形態別にみると、持ち家にお住まいの方で「子育て・教育環境が不十分」の占める割合が高く、賃貸住宅にお住まいの方で「戸建て住宅を持ちたい」の占める割合が高い。



問13. 市外に引越したい理由【1～3位】 【3つまでの複数回答】

上段:実数、下段:構成比

		全体	通勤・通学などの交通が不便	職場や学校が遠い	働きたい会社・仕事がない	戸建て住宅を持ちたい	家賃が高い	自然環境が悪い	子育て・教育環境が不十分	医療・福祉サービスが不足している	買い物が不便	治安やまちの雰囲気が悪い	親族や知人が近くいない	その他	無回答	
全体		20 100.0	4 20.0	0 -	2 10.0	5 25.0	1 5.0	0 -	7 35.0	1 5.0	3 15.0	3 15.0	5 25.0	6 30.0	2 10.0	
住まいの形態	持ち家（一戸建て）	7 100.0	3 42.9	-	-	-	-	-	4 57.1	-	3 42.9	2 28.6	-	1 14.3	1 14.3	
	持ち家（マンション等集合住宅）	* -	* -	* -	* -	* -	* -	* -	* -	* -	* -	* -	* -	* -	* -	
	民間賃貸住宅（一戸建て：借家等）	3 100.0	-	-	1 33.3	1 33.3	1 33.3	-	-	-	-	-	-	1 33.3	1 33.3	-
	民間賃貸住宅（アパート等集合住宅）	7 100.0	1 14.3	-	-	3 42.9	-	-	2 28.6	1 14.3	-	-	2 28.6	3 42.9	1 14.3	
	市営住宅、県営住宅、雇用促進住宅	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0	1 100.0	1 100.0	-	
	社宅・公務員住宅・寮	1 100.0	-	-	1 100.0	-	-	-	1 100.0	-	-	-	1 100.0	-	-	
	その他	1 100.0	-	-	-	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	無回答	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *

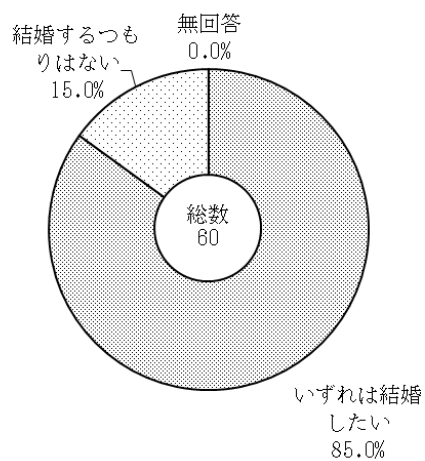
最も回答の多い項目

### ③独身者の意識

#### 1) 将来の結婚に対する考え方

問 14. 問 9 で 2) または 3) に ○ を つ け た 方 に 伺 い ま す 。 将 来 的 に あ な た の 結 婚 に 対 す る お 考 え は ど ち ら に 近 い で す か 。 該 当 す る 番 号 1 つ を ○ で 囲 ん で く だ さ い 。

- 将来の結婚に対する考え方では、「いずれは結婚したい」がほとんどを占めている。
- 年齢別にみても大きな差はみられないが、40～44 歳ではどちらの意見も同程度を占めている。
- 最終学歴別にみても、大きな差はみられない。



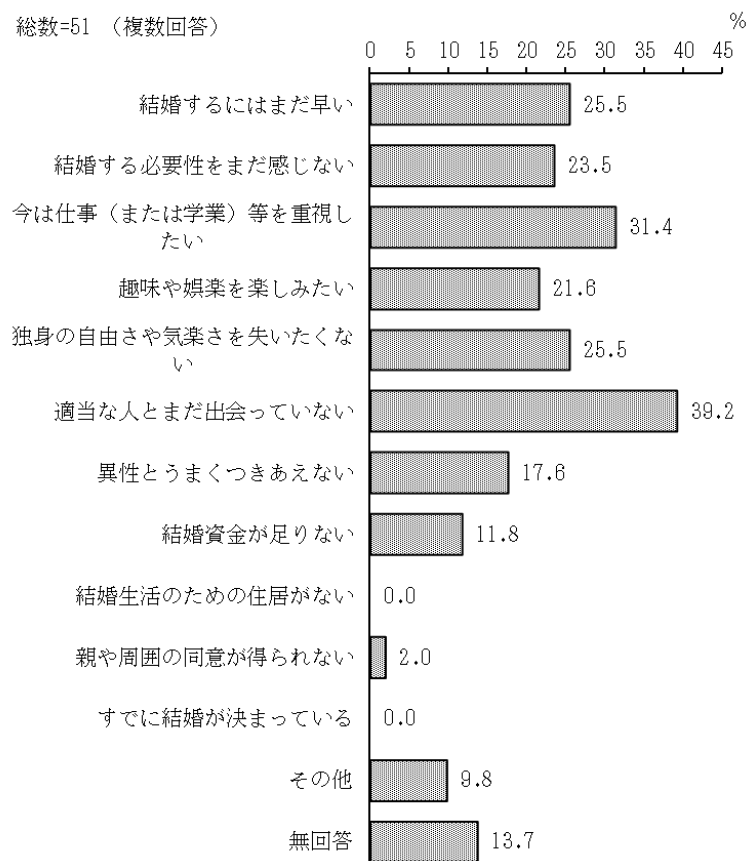
問14. 結婚に対する将来の考え方 上段:実数、下段:構成比

		全体	いずれは結婚したい	結婚するつもりはない	無回答
全体		60 100.0	51 85.0	9 15.0	- -
年齢	18～24歳	18 100.0	15 83.3	3 16.7	- -
	25～29歳	13 100.0	13 100.0	-	-
	30～34歳	9 100.0	8 88.9	1 11.1	-
	35～39歳	11 100.0	9 81.8	2 18.2	-
	40～44歳	7 100.0	4 57.1	3 42.9	-
	45～49歳	2 100.0	2 100.0	-	-
	無回答	- *	- *	- *	- *
最終学歴	中学校	- *	- *	- *	- *
	男女共学の高校	12 100.0	10 83.3	2 16.7	-
	男女別学の高校	5 100.0	4 80.0	1 20.0	-
	専修学校（高卒後）	7 100.0	7 100.0	-	-
	短大・高専	7 100.0	5 71.4	2 28.6	-
	女子大学	5 100.0	5 100.0	-	-
	共学の大学	17 100.0	15 88.2	2 11.8	-
	大学院	3 100.0	3 100.0	-	-
	その他	4 100.0	2 50.0	2 50.0	-
	無回答	- *	- *	- *	- *

## 2) 独身でいる理由について

問 15. 問 14 で 1) に○をつけた方に伺います。現在、独身でいる理由は何ですか。該当する番号 3 つまで選び、最も近い順に並べてください。

- 独身でいる理由では、「適当な人とまだ出会っていない」(39.2%) が最も多く、次いで「今は仕事(または学業)等を重視したい」(31.4%)、「結婚するにはまだ早い」「独身の自由さや気軽さを失いたくない」(25.5%)、「結婚する必要性をまだ感じない」(23.5%)、「趣味や娯楽を楽しみたい」(21.6%) の順となっている。
- 1 番目に回答された項目に限定してみると、「適当な人とまだ出会っていない」(19.6%)、「今は仕事(または学業)等を重視したい」(15.7%) の占める割合が高く、その他の回答は横並びで 10%未滿を占めるに過ぎない。
- 年齢別にみると、20 歳代では「今は仕事(または学業)等を重視したい」の占める割合が高く、30 歳以上で「適当な人とまだ出会っていない」の占める割合が高くなる傾向にある。





問15. 現在、独身でいる理由【1～3位】

【3つまでの複数回答】

上段:実数、下段:構成比

	全体	結婚するにはまだ早い	結婚する必要性はまだ感じない	今は仕事(または学業)等を重視したい	趣味や娯楽を楽しみたい	独身の自由さや気楽さを失いたくない	適当な人とまだ出会っていない	異性とうまくつきあえない	結婚資金が足りない	結婚生活のための住居がない	親や周囲の同意が得られない	すでに結婚が決まっている	その他	無回答
		実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数
全体	51	13	12	16	11	13	20	9	6	-	1	-	5	7
	100.0	25.5	23.5	31.4	21.6	25.5	39.2	17.6	11.8	-	2.0	-	9.8	13.7
年齢	18～24歳	15	8	4	10	1	3	8	2	2	-	-	1	1
		100.0	53.3	26.7	66.7	6.7	20.0	53.3	13.3	13.3	-	-	6.7	6.7
	25～29歳	13	4	4	6	5	5	1	2	3	-	1	1	1
		100.0	30.8	30.8	46.2	38.5	38.5	7.7	15.4	23.1	-	7.7	7.7	7.7
	30～34歳	8	1	-	-	2	2	3	-	-	-	-	1	3
		100.0	12.5	-	-	25.0	25.0	37.5	-	-	-	-	12.5	37.5
	35～39歳	9	-	4	-	2	1	4	3	1	-	-	1	1
		100.0	-	44.4	-	22.2	11.1	44.4	33.3	11.1	-	-	11.1	11.1
40～44歳	4	-	-	-	1	1	2	-	-	-	-	1	1	
	100.0	-	-	-	25.0	25.0	50.0	-	-	-	-	25.0	25.0	
45～49歳	2	-	-	-	-	1	2	2	-	-	-	-	-	
	100.0	-	-	-	-	50.0	100.0	100.0	-	-	-	-	-	
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	

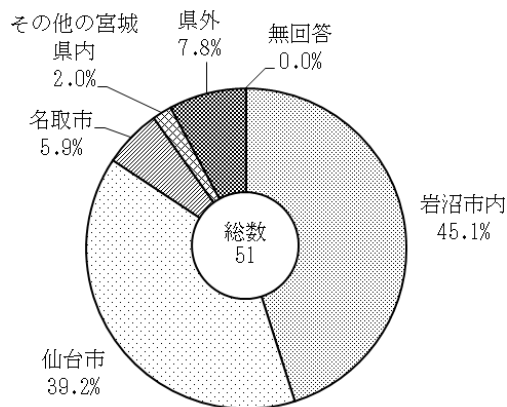
最も回答の多い項目

2番目に回答の多い項目

### 3) 今後の住まいについて

問 16. 現在の希望として、将来結婚したらどこで暮らしたいですか。該当する番号1つを○で囲んでください。

- 将来の結婚後の住まいについては、「岩沼市内」(45.1%)が最も多く、次いで「仙台市」(39.2%)となっており、この2つで約84%を占めている。
- 年齢別にみると、20歳代では「仙台市」を選択する傾向が高く、30歳以上になると「岩沼市」を選択する傾向が高くなる。
- 出生地別にみると、岩沼市出身者では「岩沼市」を選択する傾向が高く、岩沼市以外の宮城県内では同数、県外出身者では「仙台市」を選択する傾向が高い。



問16. 将来結婚したら暮らしたい場所

上段:実数、下段:構成比

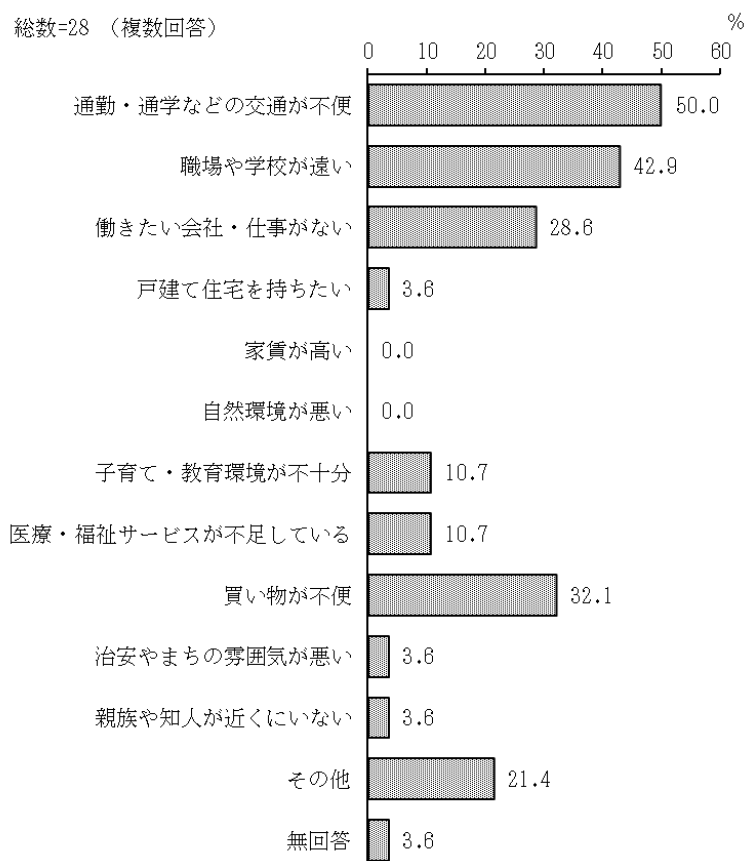
		全体	岩沼市内	仙台市	名取市	その他の宮城県内	県外	無回答
全体		51 100.0	23 45.1	20 39.2	3 5.9	1 2.0	4 7.8	- -
年齢	18~24歳	15 100.0	6 40.0	7 46.7	1 6.7	-	1 6.7	- -
	25~29歳	13 100.0	3 23.1	7 53.8	-	1 7.7	2 15.4	- -
	30~34歳	8 100.0	6 75.0	1 12.5	1 12.5	-	-	- -
	35~39歳	9 100.0	5 55.6	3 33.3	-	-	1 11.1	- -
	40~44歳	4 100.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	-	-	- -
	45~49歳	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-	-	-	- -
	無回答	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *
出生地	岩沼市	25 100.0	14 56.0	7 28.0	2 8.0	1 4.0	1 4.0	- -
	岩沼市以外の宮城県内	16 100.0	7 43.8	7 43.8	-	-	2 12.5	- -
	県外	10 100.0	2 20.0	6 60.0	1 10.0	-	1 10.0	- -
	無回答	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *

最も回答の多い項目

#### 4) 岩沼市以外に住みたい理由

問 17. 問 16 で 2)、3)、4)、5) に○をつけた方に伺います。岩沼市以外に住みたい理由は何ですか。該当する番号を3つまで選び、最も近い順に並べてください。

- 岩沼市以外に住みたい理由としては、「通勤・通学などの交通が不便」(50.0%) が最も多く、次いで「職場や学校が遠い」(42.9%)、「買い物が不便」(32.1%)、「働きたい会社・仕事がない」(28.6%) の順となっている。
- 1 番目に回答された項目をみると、「通勤・通学などの交通が不便」が最も多く、それ以下はほぼ横並びで並んでいる。
- 年齢別や出生地別にみても大きな差はないが、若い世代や県外出身者で「買い物が不便」を選択する傾向がみられる。



問17. 岩沼市以外に住みたい理由【1～3位】 【3つまでの複数回答】

上段:実数、下段:構成比

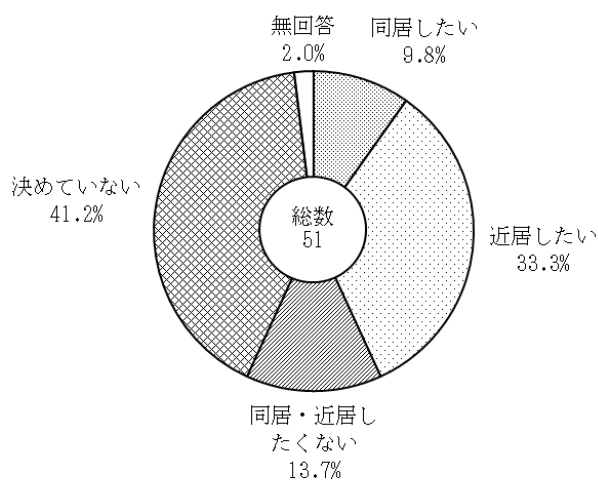
		全体	通勤・通学などの交通が不便	職場や学校が遠い	働きたい会社・仕事がない	戸建て住宅を持ちたい	家賃が高い	自然環境が悪い	子育て・教育環境が不十分	医療・福祉サービスが不足している	買い物が不便	治安やまちの雰囲気が悪い	親族や知人が近くにいない	その他	無回答
全体		28 100.0	14 50.0	12 42.9	8 28.6	1 3.6	0 -	0 -	3 10.7	3 10.7	9 32.1	1 3.6	1 3.6	6 21.4	1 3.6
年齢	18～24歳	9 100.0	6 66.7	4 44.4	4 44.4	-	-	-	-	-	4 44.4	1 11.1	0	-	2 22.2
	25～29歳	10 100.0	5 50.0	6 60.0	1 10.0	1 10.0	-	-	2 20.0	2 20.0	1 10.0	0	1 10.0	2 20.0	1 10.0
	30～34歳	2 100.0	1 50.0	0	0	0	0	0	0	0	2 100.0	0	0	0	0
	35～39歳	4 100.0	2 50.0	2 50.0	2 50.0	0	0	0	1 25.0	0	0	0	0	0	1 25.0
	40～44歳	2 100.0	0	0	0	0	0	0	0	0	1 50.0	0	0	0	1 50.0
	45～49歳	1 100.0	0	0	1 100.0	0	0	0	0	1 100.0	1 100.0	0	0	0	0
	無回答	0 *	0 *	0 *	0 *	0 *	0 *	0 *	0 *	0 *	0 *	0 *	0 *	0 *	0 *
	出生地	岩沼市	11 100.0	6 54.5	8 72.7	2 18.2	1 9.1	0	0	0	0	3 27.3	1 9.1	0	2 18.2
岩沼市以外の宮城県内	9 100.0	4 44.4	3 33.3	3 33.3	0	0	0	1 11.1	1 11.1	1 11.1	0	1 11.1	2 22.2	1 11.1	
県外	8 100.0	4 50.0	1 12.5	3 37.5	0	0	0	2 25.0	2 25.0	5 62.5	0	0	2 25.0	0	
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

最も回答の多い項目  
2番目に回答の多い項目

## 5) 将来の同居・近居の可能性

問 18. 将来結婚したら父母（義父母）と同居または近居しますか。該当する番号1つを○で囲んでください。

- 将来の同居・近居の可能性については、「決めていない」（41.2%）が最も多く、次いで「近居したい」（33.3%）、「同居・近居したくない」（13.7%）の順となっている。
- 性別、年齢別でも「決めていない」の占める割合が高いが、性別では男性が「同居」、女性が「近居」を選択する割合が高く、年齢別では若い世代ほど「同居・近居したくない」を選択する割合が高い。
- 結婚後の住まい別にみてもあまり差はみられない。



問18. 同居または近居について

上段:実数、下段:構成比

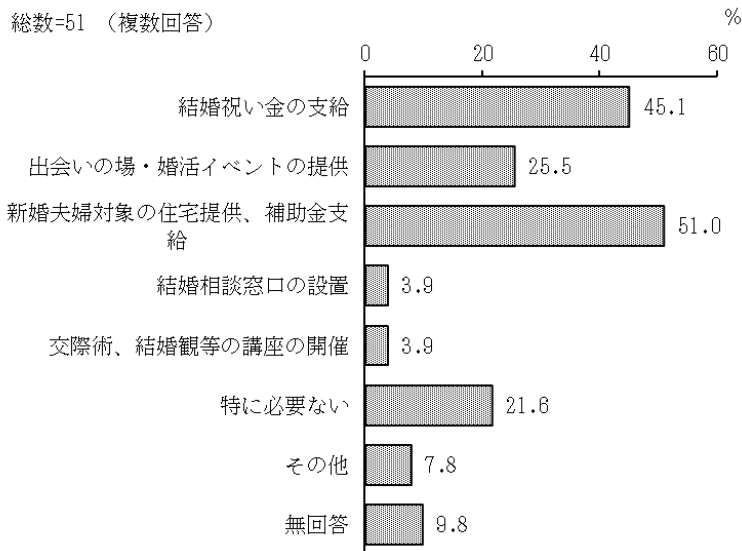
		全体	同居したい	近居したい	同居・近居したくない	決めていない	無回答
全体		51 100.0	5 9.8	17 33.3	7 13.7	21 41.2	1 2.0
性別	男性	17 100.0	4 23.5	3 17.6	2 11.8	8 47.1	-
	女性	34 100.0	1 2.9	14 41.2	5 14.7	13 38.2	1 2.9
	無回答	-	-	-	-	-	-
年齢	18~24歳	15 100.0	1 6.7	3 20.0	3 20.0	8 53.3	-
	25~29歳	13 100.0	1 7.7	2 15.4	3 23.1	6 46.2	1 7.7
	30~34歳	8 100.0	-	4 50.0	-	4 50.0	-
	35~39歳	9 100.0	1 11.1	5 55.6	1 11.1	2 22.2	-
	40~44歳	4 100.0	1 25.0	2 50.0	-	1 25.0	-
	45~49歳	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-
結婚後の住まい	岩沼市内	23 100.0	5 21.7	8 34.8	1 4.3	8 34.8	1 4.3
	仙台市	20 100.0	-	6 30.0	3 15.0	11 55.0	-
	名取市	3 100.0	-	1 33.3	1 33.3	1 33.3	-
	その他の宮城県内	1 100.0	-	-	-	1 100.0	-
	県外	4 100.0	-	2 50.0	2 50.0	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-

最も回答の多い項目  
2番目に回答の多い項目

6) 結婚のために行政に望むこと

問 19. 結婚のために行政に望むことは何ですか。重視して取り組むべきだと思うことについて、該当する番号を3つまで選び、最も近い順に並べてください。

- 結婚のために行政に望むことでは、「新婚夫婦対象の住宅提供、補助金支給」(51.0%)が最も多く、次いで「結婚祝い金の支給」(45.1%)、「出会いの場・婚活イベントの提供」(25.5%)、「特に必要ない」(21.6%)の順となっている。
- 回答順に重みをつけて集計すると、「新婚夫婦対象の住宅提供、補助金支給」が65ポイントで最も多く、次いで「結婚祝い金の支給」が59ポイント、「特に必要ない」が33ポイントの順となっている。
- 年齢別にみると、20代では財政面の支援を選択する傾向が高く、30歳を超えると場の提供を選択する傾向が高くなっている。



問19. 結婚のために行政に望むこと【1～3位】 【3つまでの複数回答】 上段:実数、下段:構成比

	全体	結婚祝い金の支給	出会いの場・婚活イベントの提供	新婚夫婦対象の住宅提供、補助金支給	結婚相談窓口の設置	交際術、結婚観等の講座の開催	特に必要ない	その他	無回答
		実数	実数	実数	実数	実数	実数	実数	実数
全体	51	23	13	26	2	2	11	4	5
	100.0	45.1	25.5	51.0	3.9	3.9	21.6	7.8	9.8
年齢	18～24歳	15	8	2	8	-	-	5	-
		100.0	53.3	13.3	53.3	-	-	33.3	-
	25～29歳	13	9	2	11	2	2	1	1
		100.0	69.2	15.4	84.6	15.4	15.4	7.7	7.7
	30～34歳	8	3	3	4	-	-	2	-
		100.0	37.5	37.5	50.0	-	-	25.0	-
	35～39歳	9	2	3	2	-	-	2	1
		100.0	22.2	33.3	22.2	-	-	22.2	11.1
40～44歳	4	-	2	-	-	-	-	2	
	100.0	-	50.0	-	-	-	-	50.0	
45～49歳	2	1	1	1	-	-	1	-	
	100.0	50.0	50.0	50.0	-	-	50.0	-	
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	*	*	*	*	*	*	*	*	*

最も回答の多い項目  
2番目に回答の多い項目

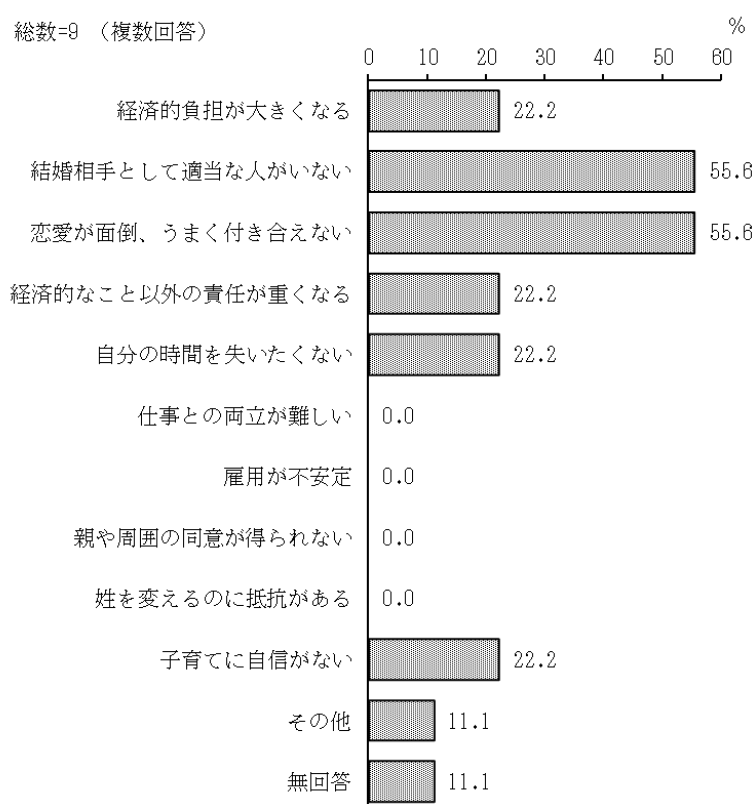


#### ④結婚意思のない者の意識

##### 1)結婚するつもりはない理由

問 20. 問 14 で 2) に○をつけた方に伺います。その理由は何ですか。該当する番号を3つまで選び、最も近い順に並べてください。

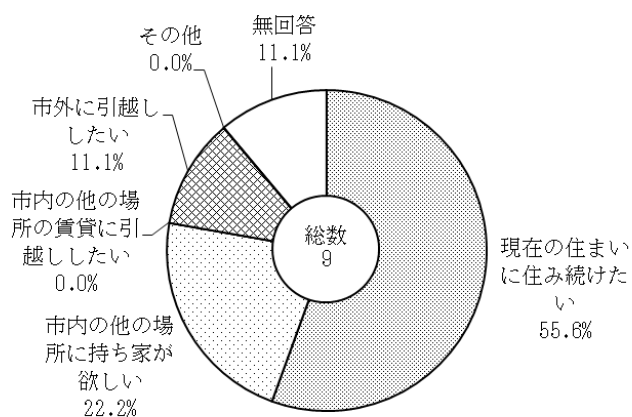
- 結婚するつもりはない理由としては、「結婚相手として適当な人がいない」「恋愛が面倒、うまく付き合えない」(55.6%)の2つの回答比率が高いが、回答対象者の半数近く(対象者9人のうち4人)が無回答のため、あくまで参考値とする。



## 2) 今後の住まいについて

問 21. 今後のお住まいについてどのようにお考えですか。該当する番号1つを○で囲んでください。

- 今後の住まいについては、「現在の住まいに住み続けたい」（55.6%）が最も多く、次いで「市内の他の場所に持ち家が欲しい」（22.2%）と合わせると9人中8人が岩沼市内に住み続けたいと回答している。
- なお、市外に引越したい理由では、「職場や学校が遠い」が選択されている。



⑤市外に引越したい理由

ここでは、問 13、問 17、問 22 の回答結果を合わせて、市外に引越したい理由を整理する。

- ・岩沼市以外に住みたい理由としては、「通勤・通学などの交通が不便」(36.7%) が最も多く、次いで「職場や学校が遠い」(26.5%)、「買い物が不便」「その他」(24.5%) の順となっている。
- ・年齢別にみると、比較的若い世代で「通勤・通学などの交通が不便」の占める割合が高く、30 歳以上では母数が少ないこともあるが、意見は分かれる傾向にある。
- ・出生地別にみると、岩沼市出身者で「職場や学校が遠い」の占める割合が高く、岩沼市以外の出身者で「子育て・教育環境が不十分」の占める割合が高い。

岩沼市以外に住みたい理由【1～3位】 【問13、問17、問22の合計：複数回答】 上段:実数、下段:構成比

	全体	通勤・通学などの交通が不便	職場や学校が遠い	働きたい会社・仕事がない	家賃が高い	自然環境が悪い	子育て・教育環境が不十分	医療・福祉サービスが不足している	買い物が不便	治安やまちの雰囲気が悪い	親族や知人が近くにいない	その他	無回答
全体	49	18	13	10	1	0	10	4	12	4	6	12	3
	100.0	36.7	26.5	20.4	2.0	0.0	20.4	8.2	24.5	8.2	12.2	24.5	6.1
年齢	18～24歳	10	6	4	5	1	0	0	4	1	0	2	0
		100.0	60.0	40.0	50.0	10.0	0.0	0.0	40.0	10.0	0.0	20.0	0.0
	25～29歳	14	6	6	1	0	0	3	2	2	1	3	1
		100.0	42.9	42.9	7.1	0.0	0.0	21.4	14.3	14.3	7.1	21.4	7.1
	30～34歳	5	2	0	1	0	0	2	1	2	0	0	0
		100.0	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0	40.0	20.0	40.0	0.0	40.0	0.0
	35～39歳	8	2	3	2	0	0	2	0	1	1	3	1
		100.0	25.0	37.5	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	12.5	12.5	37.5	12.5
40～44歳	7	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	1	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	42.9	14.3	
45～49歳	5	2	0	1	0	0	3	1	2	1	1	0	
	100.0	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0	60.0	20.0	40.0	20.0	20.0	0.0	
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
出生地	岩沼市	14	7	9	3	1	0	0	3	1	0	2	0
		100.0	50.0	64.3	21.4	7.1	0.0	0.0	21.4	7.1	0.0	14.3	0.0
	岩沼市以外の宮城県内	20	6	3	3	0	0	5	1	4	2	5	3
		100.0	30.0	15.0	15.0	0.0	0.0	25.0	5.0	20.0	10.0	5.0	25.0
	県外	15	5	1	4	0	0	5	3	5	1	5	0
	100.0	33.3	6.7	26.7	0.0	0.0	33.3	20.0	33.3	6.7	33.3	0.0	
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*

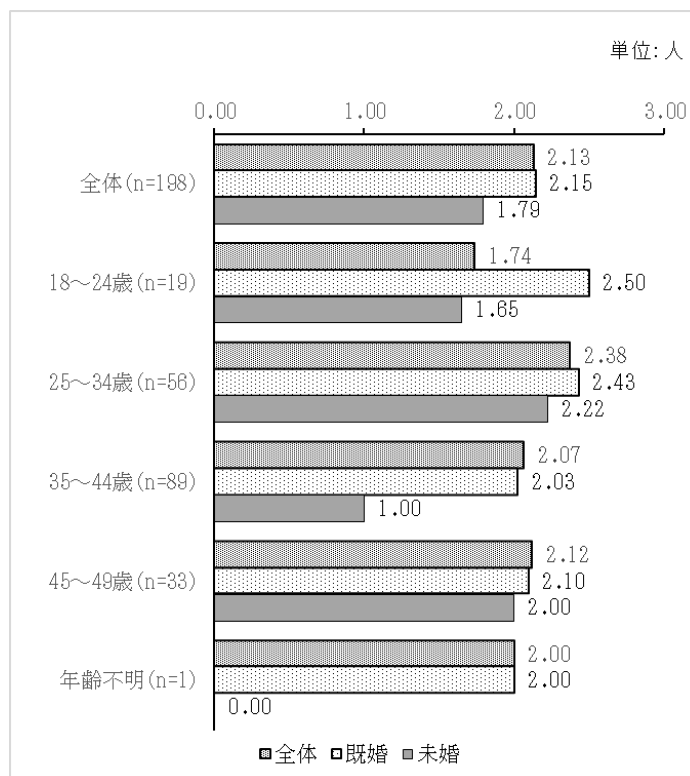
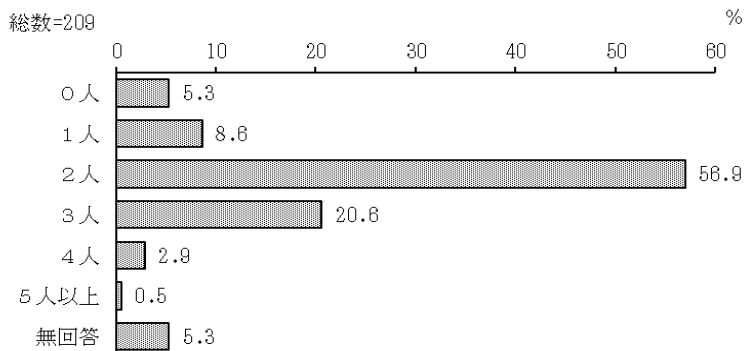
最も回答の多い項目  
2番目に回答の多い項目

(2) 妊娠、出産、子育てに関する意識について

①希望する子どもの人数

問 23. あなたは、将来的に何人のお子さんを望んでいますか。現在いるお子さんも含めた人数を記入してください。結婚されていない方は理想の人数をお答えください。

- 希望する子どもの数は、「2人」(56.9%) が最も多く、次いで「3人」(20.6%)、「1人」(8.6%) の順となっている。
- 無回答者を除いて希望する子どもの数の平均人数を算出すると、2.13人である。
- 男性、女性別にみると、子ども数、平均人数とも全体的な傾向に違いはないが、女性で「0人」の回答比率が若干高くなっている。
- 年齢別にみると、40～44歳で「1人」の回答比率が上がり、平均人数が下がる傾向にある。
- 結婚の有無別にみると、既婚者(現在結婚をしている+結婚したが死別または離別しているの合計)の希望する子どもの人数は、「2人」が60.5%と最も多く、次いで「3人」が20.4%、「1人」が8.9%の順で、平均人数は2.15人である。結婚したことのない人では、「2人」が47.9%と最も多く、次いで「3人」が18.8%、「0人」が14.6%の順で、平均人数は1.79人である。
- 住まいの形態別にみると、持ち家、民間賃貸住宅ともに戸建てに住む人の平均人数が高くなる傾向にあり、集合住宅に住む人では2人を下回っている。



問23. 将来的に何人の子どもの望んでいますか

上段:実数、下段:構成比

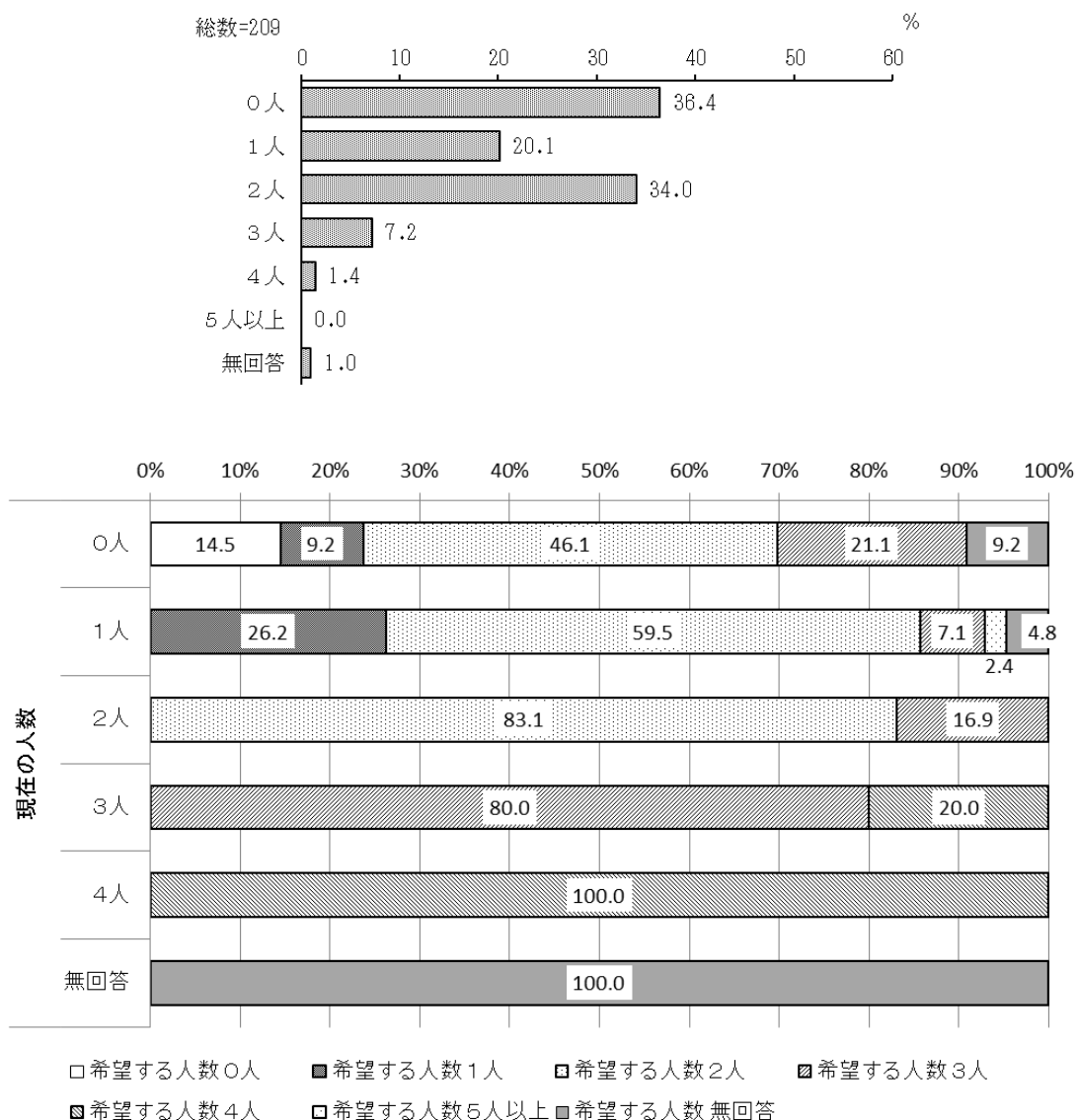
		全体	0人	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答	平均人数
全体		209 100.0	11 5.3	18 8.6	119 56.9	43 20.6	6 2.9	1 0.5	11 5.3	2.13
性別	男性	74 100.0	2 2.7	8 10.8	46 62.2	14 18.9	2 2.7	0 -	2 2.7	2.08
	女性	134 100.0	9 6.7	10 7.5	72 53.7	29 21.6	4 3.0	1 0.7	9 6.7	2.16
	無回答	1 100.0	0 -	0 -	1 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	2.00
年齢	18~24歳	20 100.0	4 20.0	1 5.0	10 50.0	4 20.0	0 -	0 -	1 5.0	1.74
	25~29歳	27 100.0	0 -	2 7.4	13 48.1	10 37.0	0 -	0 -	2 7.4	2.32
	30~34歳	35 100.0	0 -	0 -	19 54.3	11 31.4	1 2.9	0 -	4 11.4	2.42
	35~39歳	46 100.0	2 4.3	4 8.7	27 58.7	9 19.6	3 6.5	0 -	1 2.2	2.16
	40~44歳	46 100.0	3 6.5	10 21.7	27 58.7	2 4.3	1 2.2	1 2.2	2 4.3	1.98
	45~49歳	34 100.0	2 5.9	1 2.9	22 64.7	7 20.6	1 2.9	0 -	1 2.9	2.12
	無回答	1 100.0	0 -	0 -	1 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	2.00
結婚の有無	結婚している	145 100.0	4 2.8	12 8.3	87 60.0	30 20.7	6 4.1	0 -	6 4.1	2.16
	結婚したが死別または 離別している	12 100.0	0 -	2 16.7	8 66.7	2 16.7	0 -	0 -	- -	2.00
	既婚者(上記計)	157 100.0	4 2.5	14 8.9	95 60.5	32 20.4	6 3.8	0 -	6 3.8	2.15
	結婚したことはない	48 100.0	7 14.6	4 8.3	23 47.9	9 18.8	0 -	0 -	5 10.4	1.79
	無回答	4 100.0	0 -	0 -	1 25.0	2 50.0	0 -	1 25.0	- -	5.25
住まいの形態	持ち家(一戸建て)	127 100.0	7 5.5	9 7.1	73 57.5	28 22.0	4 3.1	0 -	6 4.7	2.11
	持ち家(マンション等 集合住宅)	5 100.0	1 20.0	0 -	4 80.0	0 -	0 -	0 -	0 -	1.60
	民間賃貸住宅(一戸建 て:借家等)	14 100.0	0 -	1 7.1	9 64.3	3 21.4	0 -	0 -	1 7.1	2.15
	民間賃貸住宅(アパー ト等集合住宅)	43 100.0	2 4.7	7 16.3	25 58.1	5 11.6	0 -	0 -	4 9.3	1.85
	市営住宅、県営住宅、 雇用促進住宅	12 100.0	1 8.3	1 8.3	5 41.7	2 16.7	2 16.7	1 8.3	0 -	3.17
	社宅・公務員住宅・寮	4 100.0	0 -	0 -	2 50.0	2 50.0	0 -	0 -	0 -	2.50
	その他	2 100.0	0 -	0 -	1 50.0	1 50.0	0 -	0 -	0 -	2.50
	無回答	2 100.0	0 -	0 -	0 100.0	2 -	0 -	0 -	0 -	3.00

最も回答の多い項目  
2番目に回答の多い項目

## ②現在の子ども的人数

問 24. あなたは、現在何人のお子さんがいますか。人数を記入してください。結婚されていない方などおこさんがいない方は「0」とお答えください。

- 現在の子ども的人数は「0人」(36.4%) が最も多く、次いで「2人」(34.0%)、「1人」(20.1%) の順となっており、平均人数では 1.16 人となっている。
- 年齢別にみると、34 歳以下では「0人」が最も多く、35 歳を超えると「2人」が最も多くなっている。
- 住まいの形態別にみると、持ち家、民間賃貸住宅とも一戸建てで「2人」の占める割合が高く、集合住宅では「0人」の占める割合が高い。
- 結婚の有無別にみると、現在結婚している人では「2人」が半数近くを占め、平均人数では 1.55 人となっている。
- 現在の子ども的人数と理想とする子ども的人数の関係をみると、現在子どもが1人いる人では約7割の人が2人目以降を希望しており、現在2人又は3人の子どもがいる人では現在以上の子どもを希望するのは約2割に留まっている。



問24. 現在何人の子どもがいますか

上段:実数、下段:構成比

		全体	0人	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答	平均人数
全体		209 100.0	76 36.4	42 20.1	71 34.0	15 7.2	3 1.4	0 -	2 1.0	1.16
性別	男性	74 100.0	30 40.5	15 20.3	21 28.4	8 10.8	0 -	0 -	0 -	1.09
	女性	134 100.0	46 34.3	27 20.1	49 36.6	7 5.2	3 2.2	0 -	2 1.5	1.20
	無回答	1 100.0	0 -	0 -	1 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	2.00
年齢	18~24歳	20 100.0	19 95.0	1 5.0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0.05
	25~29歳	27 100.0	18 66.7	4 14.8	4 14.8	0 -	0 -	0 -	1 3.7	0.46
	30~34歳	35 100.0	12 34.3	8 22.9	12 34.3	1 2.9	1 2.9	0 -	1 2.9	1.15
	35~39歳	46 100.0	13 28.3	8 17.4	17 37.0	7 15.2	1 2.2	0 -	0 -	1.46
	40~44歳	46 100.0	9 19.6	14 30.4	21 45.7	2 4.3	0 -	0 -	0 -	1.35
	45~49歳	34 100.0	5 14.7	7 20.6	16 47.1	5 14.7	1 2.9	0 -	0 -	1.71
	無回答	1 100.0	0 -	0 -	1 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	2.00
住まいの形態	持ち家（一戸建て）	127 100.0	44 34.6	22 17.3	47 37.0	10 7.9	2 1.6	0 -	2 1.6	1.23
	持ち家（マンション等集合住宅）	5 100.0	2 40.0	0 -	3 60.0	0 -	0 -	0 -	0 -	1.20
	民間賃貸住宅（一戸建て：借家等）	14 100.0	6 42.9	1 7.1	6 42.9	1 7.1	0 -	0 -	0 -	1.14
	民間賃貸住宅（アパート等集合住宅）	43 100.0	18 41.9	17 39.5	8 18.6	0 -	0 -	0 -	0 -	0.77
	市営住宅、県営住宅、雇用促進住宅	12 100.0	2 16.7	2 16.7	2 41.7	5 16.7	2 8.3	1 -	0 -	1.83
	社宅・公務員住宅・寮	4 100.0	1 25.0	0 -	2 50.0	1 25.0	0 -	0 -	0 -	1.75
	その他	2 100.0	2 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0.00
	無回答	2 100.0	1 50.0	0 -	0 -	1 50.0	0 -	0 -	0 -	1.50
結婚の有無	結婚している	145 100.0	23 15.9	38 26.2	67 46.2	13 9.0	3 2.1	0 -	1 0.7	1.55
	結婚したが死別または離別している	12 100.0	4 33.3	3 25.0	4 33.3	1 8.3	0 -	0 -	0 -	1.17
	既婚者（上記計）	157 100.0	27 17.2	41 26.1	71 45.2	14 8.9	3 1.9	0 0.0	1 0.6	1.52
	結婚したことはない	48 100.0	47 97.9	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	1 2.1	0.00
	無回答	4 100.0	2 50.0	1 25.0	0 -	1 25.0	0 -	0 -	0 -	1.00

最も回答の多い項目  
2番目に回答の多い項目

現在の子どもの人数と希望する子どもの人数の関係

上段:実数、下段:構成比

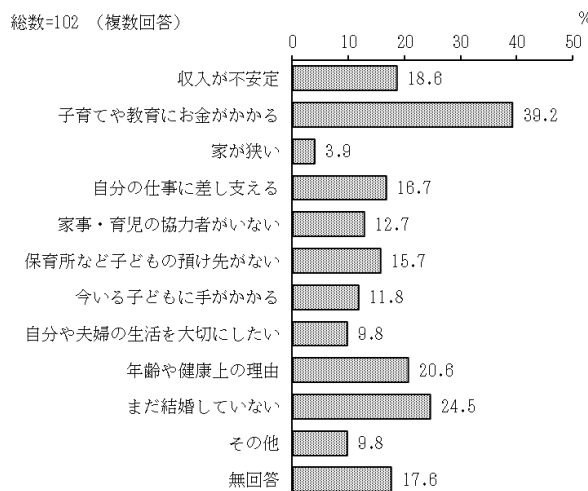
		希望する人数							
		全体	0人	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
現在の人数	全体	209 100.0	11 5.3	18 8.6	119 56.9	43 20.6	6 2.9	1 0.5	11 5.3
	0人	76 100.0	11 14.5	7 9.2	35 46.1	16 21.1	0 0.0	0 0.0	7 9.2
	1人	42 100.0	0 0.0	11 26.2	25 59.5	3 7.1	0 0.0	1 2.4	2 4.8
	2人	71 100.0	0 0.0	0 0.0	59 83.1	12 16.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	3人	15 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	12 80.0	3 20.0	0 0.0	0 0.0
	4人	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0
	5人以上	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
	無回答	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0

最も回答の多い項目  
2番目に回答の多い項目

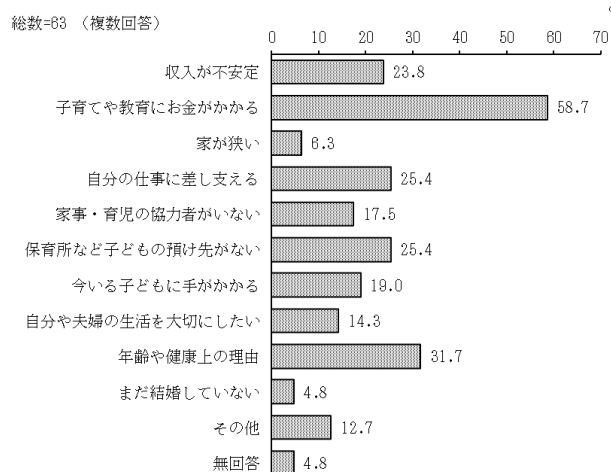
### ③理想の人数よりも少ない理由について

問 25. 理想の人数よりも現在のお子さんが少ない方にお聞きします。その要因は何だと思えますか。該当する番号を3つまで選び、最も近い順に並べてください。

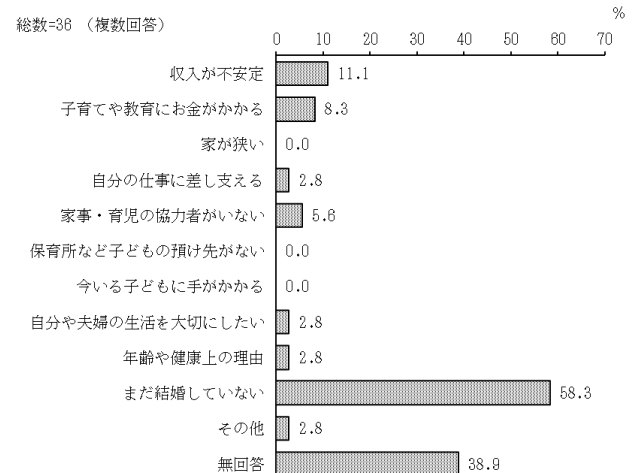
- 理想の人数よりも現在の子どもの数が少ない理由については、「子育てや教育にお金がかかる」(39.2%)が最も多く、次いで「まだ結婚していない」(24.5%)、「年齢や健康上の理由」(20.6%)、「収入が不安定」(18.6%)の順となっている。回答順に重みを付けて集計した場合でもこの傾向に変わりはない。
- 性別でみると、女性で「自分の仕事に差し支える」の占める割合が高い。
- 年齢別でみると、どの年代でも「子育てや教育にお金がかかる」の占める割合が高いが、2番目以降の回答にはバラつきがみられる。特に、35歳以上になると「年齢や健康上の理由」の占める割合が高くなる。
- 住まいの形態別にみると、集合住宅に住んでいる人で「家事・育児の協力者がいない」の占める割合が高い。
- 結婚の有無別にみると、結婚している人では「子育てや教育にお金がかかる」が約6割を占めており、次いで「年齢や健康上の理由」「自分の仕事に差し支える」の順となっている。
- 現在の子どもの人数別にみると、人数に関わらず「子育てや教育にお金がかかる」が最も多いが、現在子どもが1人いる人からは「年齢や健康上の理由」の占める割合が高く、2人以上子供がいる人からは「自分の仕事に差し支える」の占める割合が高い。



理想の人数よりも現在の子どもの数が少ない要因【既婚者】



理想の人数よりも現在の子どもの数が少ない要因【未婚者】





問25. 理想の人数よりも現在の子どもの数が少ない要因【1～3位】 【3つまでの複数回答】

上段:実数、下段:構成比

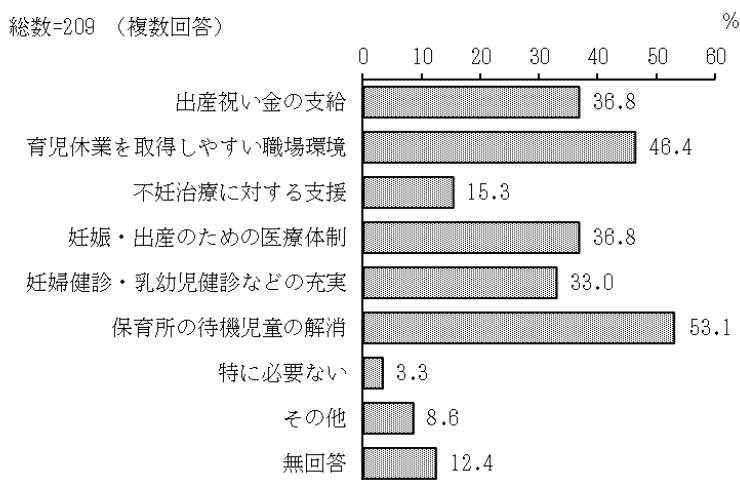
		収入が不安定	子育てや教育にお金がかかる	家が狭い	自分の仕事に差し支える	家事・育児の協力者がいない	保育所など子どもの預け先がない	今いる子どもにも手がかる	自分や夫婦の生活を大切にしたい	年齢や健康上の理由	まだ結婚していない	その他	無回答
	全体	102	40	4	17	13	16	12	10	21	25	10	18
	全体	100.0	39.2	3.9	16.7	12.7	15.7	11.8	9.8	20.6	24.5	9.8	17.6
性別	男性	41	18	1	4	5	9	3	4	8	12	5	5
	男性	100.0	43.9	2.4	9.8	12.2	22.0	7.3	9.8	19.5	29.3	12.2	12.2
	女性	61	22	3	13	8	7	9	6	13	13	5	13
	女性	100.0	36.1	4.9	21.3	13.1	11.5	14.8	9.8	21.3	21.3	8.2	21.3
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
年齢	18～24歳	15	1	1	-	-	1	-	1	-	8	-	5
	18～24歳	100.0	6.7	6.7	-	-	6.7	-	6.7	-	53.3	-	33.3
	25～29歳	24	9	1	6	2	3	2	2	2	6	2	5
	25～29歳	100.0	37.5	4.2	25.0	8.3	12.5	8.3	8.3	8.3	25.0	8.3	20.8
	30～34歳	22	11	1	4	7	5	6	1	3	5	4	2
	30～34歳	100.0	50.0	4.5	18.2	31.8	22.7	27.3	4.5	13.6	22.7	18.2	9.1
	35～39歳	19	9	1	3	-	5	2	3	7	4	2	2
35～39歳	100.0	47.4	5.3	15.8	-	26.3	10.5	15.8	36.8	21.1	10.5	10.5	
40～44歳	13	6	-	2	3	1	1	1	4	1	1	3	
40～44歳	100.0	46.2	-	15.4	23.1	7.7	7.7	7.7	30.8	7.7	7.7	23.1	
45～49歳	9	4	-	2	1	1	1	2	5	1	1	1	
45～49歳	100.0	44.4	-	22.2	11.1	11.1	11.1	22.2	55.6	11.1	11.1	11.1	
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
住まいの形態	持ち家（一戸建て）	60	20	-	12	5	7	3	15	18	7	12	
	持ち家（マンション等集合住宅）	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
	持ち家（マンション等集合住宅）	100.0	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	
	民間賃貸住宅（一戸建て：借家等）	6	2	1	-	-	1	-	2	2	1	1	
	民間賃貸住宅（一戸建て：借家等）	100.0	33.3	16.7	-	-	16.7	-	33.3	33.3	16.7	16.7	
	民間賃貸住宅（アパート等集合住宅）	26	13	2	4	7	6	3	4	4	5	1	
	民間賃貸住宅（アパート等集合住宅）	100.0	50.0	7.7	15.4	26.9	23.1	11.5	15.4	15.4	19.2	3.8	11.5
	市営住宅、県営住宅、雇用促進住宅	4	2	1	1	-	1	1	-	-	-	-	2
市営住宅、県営住宅、雇用促進住宅	100.0	50.0	25.0	25.0	-	25.0	25.0	-	-	-	-	50.0	
社宅・公務員住宅・寮	2	2	-	-	1	-	1	1	-	-	-	-	
社宅・公務員住宅・寮	100.0	100.0	-	-	50.0	-	50.0	50.0	-	-	-	-	
その他	2	1	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	
その他	100.0	50.0	50.0	-	-	-	50.0	-	-	-	50.0	-	
	無回答	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	無回答	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	
結婚の有無	結婚している	57	35	4	16	11	14	12	9	19	-	8	2
	結婚している	100.0	61.4	7.0	28.1	19.3	24.6	21.1	15.8	33.3	-	14.0	3.5
	結婚したが死別または離別している	6	2	-	-	-	2	-	-	1	3	-	1
	結婚したが死別または離別している	100.0	33.3	-	-	-	33.3	-	-	16.7	50.0	-	16.7
結婚したことはない	36	4	3	1	2	-	-	1	1	21	1	14	
結婚したことはない	100.0	11.1	8.3	2.8	5.6	-	-	2.8	2.8	58.3	2.8	38.9	
	無回答	3	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	
	無回答	100.0	-	-	-	-	-	-	-	33.3	33.3	33.3	
現在の子どもの数	0人	58	16	3	5	4	2	-	9	7	25	5	14
	0人	100.0	27.6	5.2	8.6	6.9	3.4	-	15.5	12.1	43.1	8.6	24.1
	1人	29	11	-	5	7	10	7	1	11	-	3	4
	1人	100.0	37.9	-	17.2	24.1	34.5	24.1	3.4	37.9	-	10.3	13.8
	2人	12	10	1	5	2	2	4	-	3	-	2	-
	2人	100.0	83.3	8.3	41.7	16.7	16.7	33.3	-	25.0	-	16.7	-
	3人	3	3	-	2	-	2	1	-	-	-	-	-
3人	100.0	100.0	-	66.7	-	66.7	33.3	-	-	-	-	-	
4人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4人	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	無回答	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	

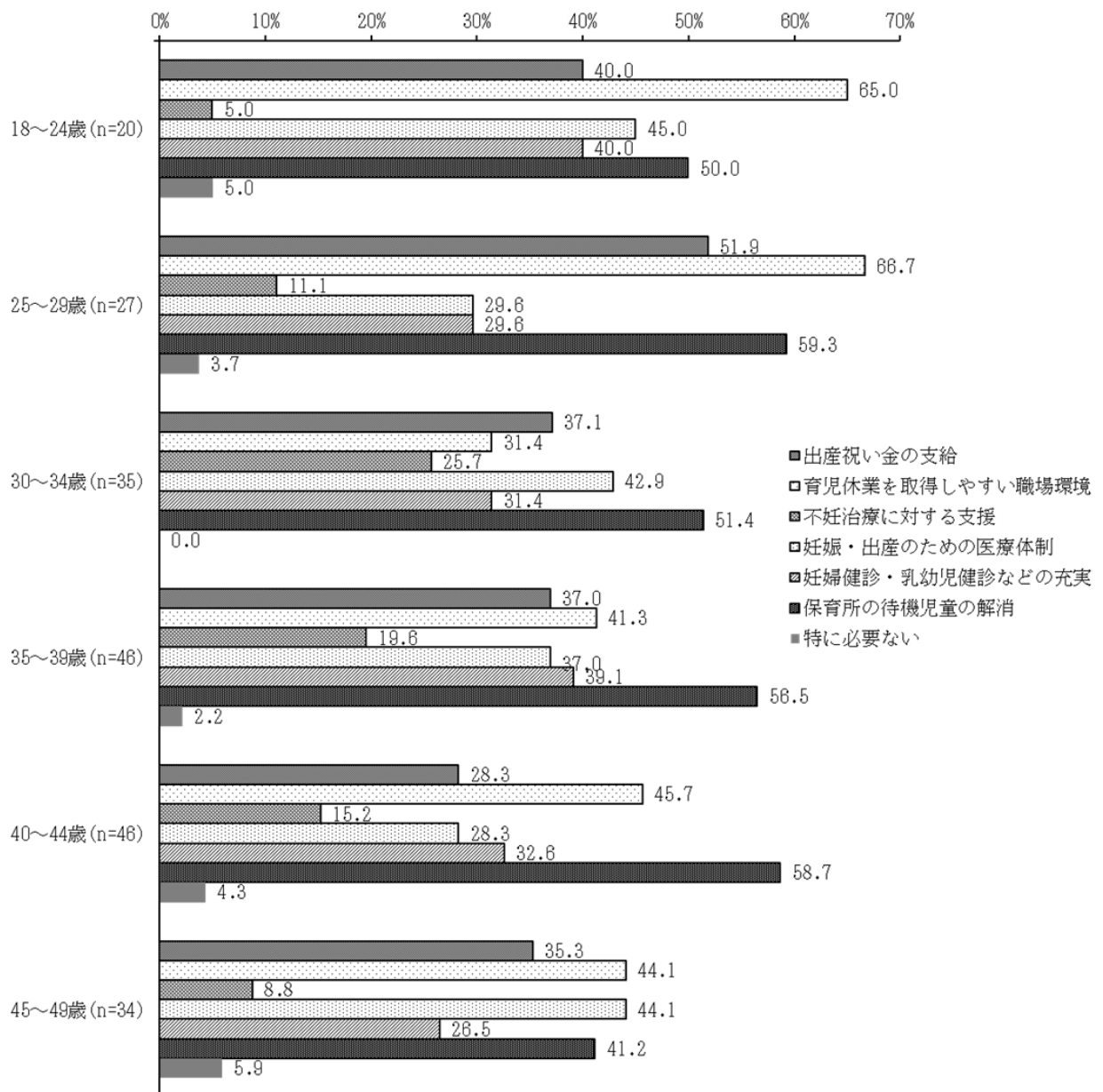
最も回答の多い項目  
2番目に回答の多い項目

#### ④妊娠・出産のために行政に望むこと

問 26. 妊娠・出産のために行政に望むことは何ですか。重視して取り組むべきだと思うことについて、該当する番号を3つまで選び、最も近い順に並べてください。

- 妊娠・出産のために行政に望むこととしては、「保育所の待機児童の解消」(53.1%) が最も多く、次いで「育児休業を取得しやすい職場環境」(46.4%)、「出産祝い金の支給」「妊娠・出産のための医療体制」(36.8%) の順となっている。
- 回答順に重みを付けて集計すると、「育児休業を取得しやすい職場環境」(230 ポイント) が最も高く、次いで「保育所の待機児童の解消」(202 ポイント)、「出産祝い金の支給」(185 ポイント)、「妊娠・出産のための医療体制」(146 ポイント) の順となり、「育児休業を取得しやすい職場環境」を特に望む意向が高い。
- 性別でみると、男性、女性ともに「保育所の待機児童の解消」の占める割合が高いが、特に女性で「育児休業を取得しやすい職場環境」の占める割合が高い傾向にある。
- 年齢別でみると、20 歳代の比較的若い世代で「育児休業を取得しやすい職場環境」の占める割合が高く、30 歳代以降で「保育所の待機児童の解消」の占める割合が高い。また、30 歳を超える年代から「不妊治療に対する支援」の占める割合が高くなっている。
- 住まいの形態別にみると、民間賃貸住宅に住んでいる人で「出産祝い金の支給」の占める割合が高い。
- 結婚の有無別にみると、既婚者では「保育所の待機児童の解消」の占める割合が高く、未婚者では「育児休業を取得しやすい職場環境」の占める割合が高い。
- 現在の子どもの人数別にみると、子どもがいない人では「保育所の待機児童の解消」と「育児休業を取得しやすい職場環境」がほぼ並んでいるが、子どもが1人以上いる人では「保育所の待機児童の解消」の占める割合が高い。





問26. 妊娠・出産のために行政に望むこと【1～3位】 【3つまでの複数回答】 上段:実数、下段:構成比

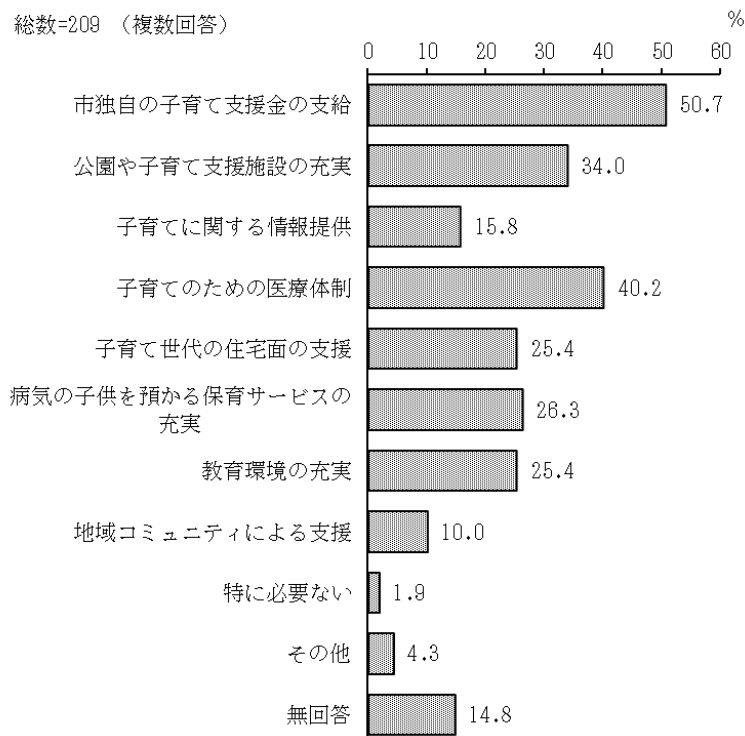
		全体	出産祝い金の支給	育児休業を取得しやすい職場環境	不妊治療に対する支援	妊娠・出産のための医療体制	妊婦健診・乳幼児健診などの充実	保育所の待機児童の解消	特に必要ない	その他	無回答
全体		209 100.0	77 36.8	97 46.4	32 15.3	77 36.8	69 33.0	111 53.1	7 3.3	18 8.6	26 12.4
性別	男性	74 100.0	28 37.8	29 39.2	10 13.5	28 37.8	22 29.7	44 59.5	3 4.1	7 9.5	10 13.5
	女性	134 100.0	49 36.6	68 50.7	22 16.4	49 36.6	47 35.1	67 50.0	4 3.0	11 8.2	15 11.2
	無回答	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0
年齢	18～24歳	20 100.0	8 40.0	13 65.0	1 5.0	9 45.0	8 40.0	10 50.0	1 5.0	-	1 5.0
	25～29歳	27 100.0	14 51.9	18 66.7	3 11.1	8 29.6	8 29.6	16 59.3	1 3.7	3 11.1	2 7.4
	30～34歳	35 100.0	13 37.1	11 31.4	9 25.7	15 42.9	11 31.4	18 51.4	-	5 14.3	5 14.3
	35～39歳	46 100.0	17 37.0	19 41.3	9 19.6	17 37.0	18 39.1	26 56.5	1 2.2	4 8.7	6 13.0
	40～44歳	46 100.0	13 28.3	21 45.7	7 15.2	13 28.3	15 32.6	27 58.7	2 4.3	4 8.7	6 13.0
	45～49歳	34 100.0	12 35.3	15 44.1	3 8.8	15 44.1	9 26.5	14 41.2	2 5.9	2 5.9	5 14.7
	無回答	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0
住まいの形態	持ち家（一戸建て）	127 100.0	36 28.3	71 55.9	20 15.7	47 37.0	41 32.3	66 52.0	5 3.9	11 8.7	17 13.4
	持ち家（マンション等集合住宅）	5 100.0	2 40.0	2 40.0	1 20.0	3 60.0	1 20.0	2 40.0	-	1 20.0	-
	民間賃貸住宅（一戸建て：借家等）	14 100.0	9 64.3	5 35.7	4 28.6	4 28.6	6 42.9	9 64.3	-	-	1 7.1
	民間賃貸住宅（アパート等集合住宅）	43 100.0	22 51.2	13 30.2	5 11.6	17 39.5	15 34.9	23 53.5	2 4.7	4 9.3	4 9.3
	市営住宅、県営住宅、雇用促進住宅	12 100.0	5 41.7	3 25.0	1 8.3	2 16.7	3 25.0	6 50.0	-	2 16.7	3 25.0
	社宅・公務員住宅・寮	4 100.0	1 25.0	-	-	3 75.0	2 50.0	3 75.0	-	-	1 25.0
	その他	2 100.0	2 100.0	1 50.0	-	-	1 50.0	2 100.0	-	-	-
無回答	2 100.0	-	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-	-	-	-	-	
結婚の有無	結婚している	145 100.0	57 39.3	59 40.7	24 16.6	56 38.6	51 35.2	80 55.2	3 2.1	17 11.7	18 12.4
	結婚したが死別または離別している	12 100.0	5 41.7	3 25.0	2 16.7	1 8.3	2 16.7	6 50.0	-	-	3 25.0
	結婚したことはない	48 100.0	15 31.3	32 66.7	5 10.4	19 39.6	15 31.3	24 50.0	4 8.3	1 2.1	4 8.3
	無回答	4 100.0	-	3 75.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	-	-	1 25.0
現在の子どもの数	0人	76 100.0	26 34.2	42 55.3	14 18.4	30 39.5	26 34.2	41 53.9	5 6.6	6 7.9	3 3.9
	1人	42 100.0	17 40.5	19 45.2	10 23.8	14 33.3	12 28.6	27 64.3	1 2.4	2 4.8	5 11.9
	2人	71 100.0	27 38.0	30 42.3	6 8.5	28 39.4	23 32.4	35 49.3	-	8 11.3	13 18.3
	3人	15 100.0	6 40.0	5 33.3	2 13.3	4 26.7	7 46.7	7 46.7	1 6.7	1 6.7	2 13.3
	4人	3 100.0	1 33.3	1 33.3	-	1 33.3	1 33.3	1 33.3	-	1 33.3	1 33.3
	無回答	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	2 100.0

最も回答の多い項目  
2番目に回答の多い項目

⑤子育てのために行政に望むこと

問 27. 子育てのために行政に望むことは何ですか。重視して取り組むべきだと思うことについて、該当する番号を3つまで選び、最も近い順に並べてください。

- 子育てのために行政に望むことでは、「市独自の子育て支援金の支給」(50.7%)が最も多く、次いで「子育てのための医療体制」(40.2%)、「公園や子育て支援施設の充実」(34.0%)の順となっている。回答順に重みを付けて集計してもこの傾向に変わりはない。
- 性別にみると、全体的な傾向と大きな差はみられない。
- 年齢別にみると、年齢が上がるにつれて、「子育てのための医療体制」の占める割合が高くなっている。
- 住まいの形態別にみると、いずれの形態においても「市独自の子育て支援金の支給」の占める割合が高いが、民間賃貸住宅の集合住宅に住んでいる人で「子育て世代の住宅面の支援」の占める割合が高くなっている。
- 結婚の有無別にみると、結婚している人で「公園や子育て支援施設の充実」の占める割合が高い。
- 現在の子どもの人数別にみると、子どもが1人以上いる人で「公園や子育て支援施設の充実」の占める割合が高い。



問27. 子育てのために行政に望むこと【1～3位】 【3つまでの複数回答】

上段:実数、下段:構成比

	全体	市独自の子育て支援金の支給	公園や子育て支援施設の充実	子育てに関する情報提供	子育てのための医療体制	子育て世代の住宅面の支援	子育ての充実	病気の子どもを預かる保育サービスの充実	教育環境の充実	地域コミュニティによる支援	特に必要ない	その他	無回答
全体	209 100.0	106 50.7	71 34.0	33 15.8	84 40.2	53 25.4	55 26.3	53 25.4	21 10.0	4 1.9	9 4.3	31 14.8	
性別	男性	74 100.0	37 50.0	28 37.8	13 17.6	29 39.2	19 25.7	18 24.3	20 27.0	5 6.8	2 2.7	4 5.4	11 14.9
	女性	134 100.0	69 51.5	43 32.1	20 14.9	55 41.0	34 25.4	37 27.6	33 24.6	16 11.9	2 1.5	5 3.7	19 14.2
	無回答	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0
年齢	18～24歳	20 100.0	12 60.0	8 40.0	6 30.0	10 50.0	7 35.0	3 15.0	5 25.0	2 10.0	-	-	2 10.0
	25～29歳	27 100.0	15 55.6	7 25.9	3 11.1	6 22.2	7 25.9	10 37.0	7 25.9	6 22.2	1 3.7	-	3 11.1
	30～34歳	35 100.0	21 60.0	16 45.7	7 20.0	12 34.3	10 28.6	9 25.7	9 25.7	3 8.6	-	4 11.4	4 11.4
	35～39歳	46 100.0	24 52.2	17 37.0	8 17.4	19 41.3	12 26.1	10 21.7	9 19.6	4 8.7	-	3 6.5	9 19.6
	40～44歳	46 100.0	17 37.0	14 30.4	2 4.3	17 37.0	12 26.1	14 30.4	15 32.6	2 4.3	2 4.3	2 4.3	9 19.6
	45～49歳	34 100.0	17 50.0	9 26.5	7 20.6	20 58.8	5 14.7	9 26.5	8 23.5	4 11.8	1 2.9	-	3 8.8
	無回答	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0
住まいの形態	持ち家（一戸建て）	127 100.0	61 48.0	44 34.6	18 14.2	58 45.7	22 17.3	35 27.6	41 32.3	14 11.0	2 1.6	6 4.7	19 15.0
	持ち家（マンション等集合住宅）	5 100.0	3 60.0	3 60.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	-	-	-
	民間賃貸住宅（一戸建て：借家等）	14 100.0	9 64.3	1 7.1	3 21.4	7 50.0	6 42.9	4 28.6	3 21.4	-	-	1 7.1	2 14.3
	民間賃貸住宅（アパート等集合住宅）	43 100.0	23 53.5	18 41.9	9 20.9	11 25.6	18 41.9	12 27.9	5 11.6	3 7.0	2 4.7	1 2.3	5 11.6
	市営住宅、県営住宅、雇用促進住宅	12 100.0	6 50.0	1 8.3	-	4 33.3	3 25.0	1 8.3	3 25.0	1 8.3	-	-	4 33.3
	社宅・公務員住宅・寮	4 100.0	2 50.0	3 75.0	1 25.0	-	2 50.0	1 25.0	-	-	-	-	1 25.0
	その他	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-	-	-	1 50.0	-	1 50.0	-	-	-
	無回答	2 100.0	1 50.0	-	1 50.0	2 100.0	1 50.0	-	-	1 50.0	-	-	-
結婚の有無	結婚している	145 100.0	79 54.5	55 37.9	19 13.1	61 42.1	39 26.9	39 26.9	36 24.8	12 8.3	2 1.4	8 5.5	18 12.4
	結婚したが死別または離別している	12 100.0	6 50.0	2 16.7	-	2 16.7	2 16.7	1 8.3	2 16.7	-	-	-	6 50.0
	結婚したことはない	48 100.0	20 41.7	14 29.2	12 25.0	19 39.6	11 22.9	14 29.2	14 29.2	8 16.7	2 4.2	1 2.1	6 12.5
	無回答	4 100.0	1 25.0	-	2 50.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	-	-	1 25.0
現在の子どもの数	0人	76 100.0	35 46.1	19 25.0	21 27.6	31 40.8	17 22.4	26 34.2	18 23.7	9 11.8	4 5.3	3 3.9	7 9.2
	1人	42 100.0	22 52.4	18 42.9	6 14.3	17 40.5	11 26.2	12 28.6	5 11.9	4 9.5	-	2 4.8	7 16.7
	2人	71 100.0	39 54.9	28 39.4	6 8.5	27 38.0	20 28.2	17 23.9	22 31.0	5 7.0	-	2 2.8	12 16.9
	3人	15 100.0	8 53.3	5 33.3	-	7 46.7	5 33.3	-	6 40.0	2 13.3	-	1 6.7	3 20.0
	4人	3 100.0	2 66.7	1 33.3	-	1 33.3	-	-	1 33.3	-	-	1 33.3	1 33.3
	無回答	2 100.0	-	-	-	1 50.0	-	-	1 50.0	1 50.0	-	-	1 50.0

最も回答の多い項目  
2番目に回答の多い項目

## 4. まとめ

### 【結婚について】

- 「結婚したことはない」または「結婚したが死別または離別」していると回答した人のうち、85.0%は「いずれは結婚したい」としている。
- 結婚について行政に望むことは、「新婚夫婦対象の住宅提供、補助金支給」、「結婚祝い金の支給」、「出会いの場・婚活イベントの提供」の占める割合が高いが、「特に必要ない」も21.6%を占めている。
- 「いずれ結婚したい」と回答した人のうち、半数以上が結婚を機に岩沼市以外に住みたいと回答している。その理由として「通勤・通学などの交通が不便」をあげる人が多い。

### 【妊娠・出産について】

- 希望する子どもの人数は、「2人」が半数以上を占め、次いで「3人」、「1人」の順で、希望する子どもの平均人数は2.13人である。
- 現在の子どもの人数と希望する子どもの人数の関係をみると、現在子どもが1人いる人では約7割が2人目以降を希望しており、現在2人又は3人の子どもがいる人では現在以上の子どもを希望するのは約2割に留まっている。
- 希望する人数よりも現在の子どもの数が少ない理由について、結婚の有無別にみると、結婚している人では「子育てや教育にお金がかかる」が約6割を占め、次いで「年齢や健康上の理由」「自分の仕事に差し支える」の順となっている。
- 妊娠、出産については、保育所の待機児童の解消や育児休暇しやすい職場環境を求めるニーズが高いが、回答者の年齢によって求められるニーズが異なる傾向を示しており、20歳代では「育児休業しやすい職場環境」、30歳代から40歳代前半では「保育所の待機児童の解消」の占める割合が高い。また、30歳代前半や40歳代後半において「妊娠・出産のための医療体制」、30歳以上の年代から「不妊治療に対する支援」の占める割合が高くなっている。

### 【子育てについて】

- 子育てのために行政に望むことでは、「市独自の子育て支援金の支給」が半数を占め、次いで「子育てのための医療体制」、「公園や子育て支援施設の充実」の順となっている。

### 【今後の住まいについて】

- 全ての回答者のうち23%が岩沼市外へ引っ越したいと回答している。
- 市外に引っ越したい理由では「通勤・通学などの交通が不便」、「職場や学校が遠い」、「買い物が不便」などがあげられている。

## 【参考資料】

### 1. 自由回答

結婚、出産、子育てに関して日頃考えていることについて、自由記述欄に記載いただいた内容を下記に整理する。

#### ○結婚

(既婚：「結婚している」「結婚したが死別または離別している」、未婚：「結婚したことはない」)

男性の自身の問題かと。女性は子どもを産めば仕事は今までどおり出来なくなるので、自分の収入だけで家族を幸せにできるか考えると決断できません。法人税を減らし、企業に若者の収入をアップさせて自信を持たせられるようにすればよいのではないのでしょうか。	【32歳、女性、既婚】
独身者のお見合いやコミュニティ活動をもっと増やし、又広報だけでなく、ピラを店に置くなどして気軽に参加できる雰囲気作りが必要だと思う。また、結婚する人へ。30代後半から妊娠しづらくなること等を知らせる文書があるといいと思う。	【36歳、女性、既婚】
晩婚化が問題となっているが、これは個々人の問題ではなく、日本全体の状態が適していないのだと考える。正直な意見としては日本という国は何もかもうまく行っていないという印象です。全体がそのような状態にあって一部がうまくいっているなんてことはありえないでしょう。	【22歳、男性、未婚】
GLAYの追っかけが忙しくてお金が回らない。GLAYより上に来るものはない。	【32歳、女性、未婚】
結婚するためには貯金がないとその先の生活に支障があると思う。	【26歳、女性、未婚】
結婚していなくても仕事を市、社会に貢献している人はたくさんいます。その頑張っている人への支援や手当てがまったく無いのはおかしい世の中だと思う。	【42歳、女性、未婚】
本人の意思によるもの。行政でとやかくする必要はないと思う。むしろ結婚に至る以前の支援（ひきこもり、障害者、低所得）を力を入れるべきではないか？出会いが少ないのなら「結婚」に限定せず、日々の生活を支えあうコミュニティづくりが先決ではないか？おのずとお節介屋さんが良縁を運ぶこともあるだろう。	【38歳、女性、未婚】
25歳までするべき。25歳までに結婚する人へ祝金をだす。25歳以降は少しずつ祝金を減らしていく。一夫多妻を取り入れるべき。	【38歳、男性、既婚】
市外ですが弟がまだ結婚していません。市や町で出会いの場、婚活パーティーなど企画があるといいと思います。できれば結婚した方がいいと思っています。	【39歳、女性、既婚】
出会いの場が少ないのでは？男性が消極的すぎる…。もっと自分をアピールし、積極的になれば結婚する人が増えると思う（女性はもっと積極的な男性を求めているはず）。	【46歳、女性、既婚】
親の世代も生活不安で、同居を強く希望された。私たち世代も両方の親を思いながら、自分たちの生活スタイルを築きたかった。パートナーと一緒にになれることはうれしいが、先の年金問題や給料引き下げが悪循環となっているように思う。	【30歳、女性、既婚】
本人が結婚したいと思わない時代になっていることが問題。男：結婚すると自分の負担が増える。自由がなくなる等。社員でも給料が安い。不安…。女：結婚して子どもを産んでも預けるところがない。仕事を	



辞めたら生きていけない（復帰できない）。など。	【37 歳、男性、既婚】
行政でお見合いパーティー等を開いて結婚を進めていく策あまり有効ではないと思う（20 代の出産年齢の若者たちはそういう場所に行きたがらない、そういう場所での出会いを求めているのでは？）。岩沼で結婚（婚姻届提出）したら、祝金が出るとか、そういう制度があると若い世代が増えるのではないかと思う。	【32 歳、男性、既婚】
各々の自由。結婚するしないに関して、行政が動く必要はないと思う。	【38 歳、女性、既婚】
籍は入れずに、事実婚もありなのかなと。ただそうした場合、いろいろと問題が出てきたとき、どう対処したらいいのかわからない（例えば親権など）。	【33 歳、女性、未婚】
結婚はお互いに他人同士が一緒になるわけで、お互い少しの気が付き、配慮が秘訣かと思います。	【42 歳、女性、既婚】
結婚したくても、きっかけがない若い人が多いと感じる。日常が忙しいから出会いの場が少ないから、自分から行動する勇気が持てないから等、いろいろな理由があると思うが、地の利を生かせばテレビでやっているような岩沼市としての同窓生、近隣住民など何でもいいので、背中を押すようなイベント（祭りのような）を設けるのも活性化につながるのではないのでしょうか。	【34 歳、男性、既婚】
恋愛や結婚は個人の自由であり、成り行きというものがある。無理に行政が支援しなくてもいいのではないかと思います。	【45 歳、男性、既婚】
晩婚化の進む世の中で、これからますます子どもがいない世帯が増えるかもしれません。人間は誰も暗い・つらい方向に進むことを望んではいないと思います。結婚について二の足を踏む理由に親の世話（同居も含む）があるのであれば、親からの独立こそが結婚という考えに社会が変われば、苦勞しなくていいのではないかと思う。結婚＝親との同居を強いられた世代が楽しく結婚話をしないことも、結婚なくなる理由のひとつではないかと思います。そこのところは先輩方の意見も聞いてみたいところです（嫁としての本心を）。	【48 歳、女性、既婚】
結婚して家庭を持つことについて、小さい時から教えていくべきだと思います（小学校の授業などでも家庭、家族について学ぶ場があると良いのでは）。	【45 歳、女性、既婚】
今は就職のことで頭がいっぱいで結婚のことは考えていません。	【22 歳、女性、未婚】
未婚の男女が増えていることについて非正規雇用の現実があり、正社員が増える社会になって欲しいです。	【36 歳、女性、未婚】
縁と運とタイミングだと思うので、そこで気付くかどうかだと思います。それと、妥協も必要な時もあるので、なかなか難しい問題だと思います。女性が一人でも生活できる時代なので、結婚に対してあまり急がなくなったのでは・・・。	【44 歳、男性、既婚】

## ○出産・子育て

(既婚：「結婚している」「結婚したが死別または離別している」、未婚：「結婚したことはない」、人数は現在の子どもの人数)

<p>当方共働きの世帯なので、安心して出産出来ない。保育所の位置も重要。希望した施設に入れることも重要。保育料は近隣に比べると特に高いというわけではないが、相当の負担になっているのは間違いない。</p> <p style="text-align: right;">【30歳、男性、既婚、2人】</p>
<p>母子家庭で高校生の子供がいます。児童手当、扶養手当の支給で子どもには最低限の生活はさせてあげることが出来、助かっています。しかし、高校に入ってからの出費が多く大変です。運動部に入ったのですが、続けさせられるかが心配です。私の勉強不足というのは当然ありますが、中学高校の支出について情報を頂ける環境があればと今になって思います。児童扶養手当は最初は少なく学年が上がると上がる。または積立を出来るようにしていただくと、母子家庭でも、進路を諦めず、部活も頑張る。大学にも進学できると希望を持った子どもを育ててあげられるのではと思っています。</p> <p style="text-align: right;">【44歳、女性、既婚、1人】</p>
<p>昨年グリーンピアに子どもをプールに入れようと思いましたが、下の子がおむつだったので入れませんでした。私の実家の相馬市では、市民プールがあり、0歳時から入館でき、プールにもおむつで入れます。原発で海に子どもをつれていけないので、プールに入れるとかなり助かります。ぜひ低価格で入れておむつで入れる安全な市民プールを作ってください。</p> <p style="text-align: right;">【32歳、女性、既婚、2人】</p>
<p>産休や育休、時短の制度などを利用したくても、会社に迷惑がかかると思うと、利用しづらい。会社や代表者が子育ての環境づくりを積極的に出来るように、指導や通知をして欲しい。そういった要望を県や国へもっと伝えて欲しい。</p> <p style="text-align: right;">【36歳、女性、既婚、2人】</p>
<p>子どもが欲しくても持てない人もいるのだから岩沼の行政はおかしい。出来るのがあたりまえだと思われたくない。その人達の気持ちもわかってほしい。</p> <p style="text-align: right;">【34歳、女性、既婚、1人】</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児医療費助成の所得制限が厳しい。もっとすぐ助成を受けられるようにして欲しい。また、二人目の方が通院することが多くとても困った。</li> <li>・南プラザ等、子育て支援の施設が充実してきたのはとてもいいことだと思うのですが、他の児童館と公民館が併設しているところでは公民館の内容が優先されたところがありそれまで子育て声援サークルで使用していた場所が良くなりました。子育て支援の取り組みに後ろ向きな感じがしてとても悲しかったです。どこか他の施設でやってくださいという選択以外なかったのでしょうか。もう少し配慮と思いやりのある施設であってほしいと思います。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【38歳、女性、既婚、2人】</p>
<p>晩婚化も相まって出産子育てには厳しい時代だと思います。改善すべきはもっと根本的なことではないでしょうか。生活そのものがよくわからなければと思います。【22歳、男性、結婚したことはない、子ども0人】</p>
<p>出産はその先の生活も考えなければならぬため、保育施設や子育てのための支援が必要だと思う。また、共働きでないと子育てができないため環境の改善が必要だと思う。</p> <p style="text-align: right;">【26歳、女性、未婚、0人】</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもは3人欲しいと考えていましたが、教育費や家を建て直すことを考えると中々3人は難しいと思い、あきらめました。</li> <li>・公園はたくさんあるものの遊具が充実していないように感じます。じっくりと遊べる遊具があると子どもたちも外で遊ぶ機会が増えると思います。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【34歳、女性、既婚、2人】</p>
<p>結局、子育て支援を利用する人は仕事をしていない時間のある主婦。働く人が子どもを無料で預けられたり、参加できるようなサポートがあたりするととても助かると思います。</p> <p style="text-align: right;">【42歳、女性、未婚、0人】</p>

公園へ子どもと出かけても砂場は荒れ放題、蛇口は壊れているので全然綺麗で安心して遊ばせる公園がない。市内、子どもと散歩していると歩道がないので危なくて歩かせられないと。	【45歳、男性、既婚、1人】
結婚当初から子どもは3人欲しいと思っていましたが、成長するにつれてかかるお金も多く、なかなか3人目に踏み切れずにいます。岩沼市独自の子育てに関する魅力があればいいのですが…。きっと我が家に3人目はやってこないでしょう…。周りの友人でも同じことをと思っている方は多いです。	【33歳、女性、既婚、2人】
子育てのためのサロンなどほとんどが平日の働いていないお母さん向けのものです。子どもの検診も平日だし、働く親にとっては何のサービスにもなりません。絵本の配布も、そのときに在庫がないとの理由で平日取りに来いと平気で言われました（市役所の職員に）が、行けるわけなどなく結局もらいませんでした。働くお母さんのためのサービスをお願いします。	【41歳、男性、既婚、2人】
待機児童をなくしてほしい。安心して子どもを預けられるコミュニティをつくってほしい。	【38歳、女性、未婚、0人】
地域ごとに子どもを見守る体制や多世代交流が生まれる仕組みなど、核家族が子育てしやすい環境づくりを行政に望みます。	【30歳、男性、既婚、1人】
少子化が進んでいるのだから、出産した女性へ1人当たり100万円の現金支給、現物支給、税制度での優遇が望ましい。	【38歳、男性、既婚、3人】
子育ての支援金と医療体制の充実。	【38歳、男性、既婚、0人】
わが子の誕生は人生の中で一番の幸せだと感じています。現実的にお金はかかるので、もっと欲しくてもあきらめるとか、欲しいけどできない人もいます。そんな心配やストレスを少しでも解消するお手伝いみたいなことを行政でもできるのではないのでしょうか。	【39歳、女性、既婚、3人】
お金の問題じゃないと思う。子どもが好きか嫌いの問題。産みたいなら産めばいいし、産みたくなかったら産まなくてもいいと思う。	【43歳、女性、既婚、2人】
現在2人目妊娠中で上の子の預け先に困っています。保育園の不足から一時的に預けたくてもいっぱい、断られることも多いです。何とかしてほしいです。両親も遠くに住んでおり、すぐに手を貸してもらえません。	【32歳、男性、既婚、1人】
出産一時金だけでなく、生活費として子どもが18歳になるまで毎月いくらか1家庭ごとに支給すれば、子どもがいくらでも生活がだいぶ変わってくると思う。	【46歳、女性、既婚、3人】
自分の実家（山形市）に帰省すると、いたるところに大きな公園があり、大勢の子どもたちが遊んでいます。それと「べにっこひろば」という室内児童遊戯施設があって、とてもうらやましく思います。ぜひこのような施設を充実させていただきたいと思います。（「べにっこひろば」〒990-0815 山形市樋越22番地023-674-0220ぜひ視察してください）	【35歳、男性、既婚、3人】
昔に比べたら子育て児童手当等、医療費助成など助かることばかりで感謝。もらえることが当たり前になってしまい、もう少しもう少しと欲が出てしまうことも確か。	【30歳、女性、既婚、2人】
岩沼小学校区で岩沼中、岩沼北中の間に住んでいる子どもたちを、岩沼中か岩沼北中か自由に選べるようにしてほしいです。	【40歳、女性、既婚、2人】
小さい公園はあっていいと思うが、小学生の高学年以上が遊ぶ公園がない（ボール遊び禁止や狭い）。ア	

<p>ストレッチなどがあればいいと思う。県民の森まで行って遊んでいる。大人もできるので。旧道が通学路になっているが、道路に轍が多く雨の日の子どもたちがかわいそうです（運転する側の気配りがないのもあると思いますが）。</p>	【47歳、女性、既婚、3人】
<p>病院の費用が支援されているため、容体が悪化する前に二次予防で防ぐことができるので、とても助かっています。</p>	【29歳、女性、既婚、2人】
<p>出産施設、医療施設は問題ないと思う（しいて言えば夜間救急面が岩沼は弱いかな）。これからは何より保育施設の充実を図ってほしい（特に病児保育）。病児保育施設が充実した市町村は確実に子育て世代の人口が増えると思います。</p>	【32歳、男性、既婚、0人】
<p>治安の悪化が否めない現代で、地域環境は子育てに大きく寄与するものだと感じております。そこを充実していかないと、地方都市に未来はないと思います。</p>	【27歳、男性、未婚、0人】
<p>小学生の働く親にとっての放課後子どもの預かり場所を6年生まで預けられるようにしてほしい。近くに頼れる人がまったくいない場合、子どもを残して働きに出ることは難しい（今のご時世）。もっと充実させないと少子化はまったく止まらない。お金面、施設面、産婦人科も増やすべき。小児科も。</p>	【32歳、男性、既婚、2人】
<p>雨天時に子どもたちが遊べる場所があればいいと思う。</p>	【40歳、女性、既婚、2人】
<p>保育料が高い。保育時間をのばしてほしい。保育所の定員を増やしてほしい。中学校まで通院の医療費を助成してほしい。予防接種の助成を拡大してほしい。</p>	【38歳、女性、既婚、1人】
<p>2人目以上を出産したくても、保育所を退去させられるシステムが納得できない。「家で育児が可能」という判断理由らしいが、乳児を抱えて上の子は育児など体力的にきついの、行政が守ってくれないなど、この少子化の時代に言語道断である。大勢産むからこそ、国や市がその世帯の子育てを応援すべきだと思う。おかげで我が家は2人の子育てに苦しみ、母（私）がメンタルを病んだ。せめて保育所に入れたままにするか退去するか「選択制」にすべきだと思う。なにが「あいのあるまち岩沼」なのか。はなはだ疑問。</p>	【33歳、女性、既婚、2人】
<p>赤ちゃん本舗、100円ショップセリアの誘致。</p>	【35歳、男性、既婚、1人】
<p>保育料が高すぎではじめはびっくりしたが、仕事もあるので預けているがどうにかならないか。このままでは子どもを産む人が減ってしまうのではないかな。</p>	【27歳、女性、既婚、2人】
<p>今現実に子育てして働いている人の話を親身になって聞いてみるのが一番だと思う。上から目線で心のないお役所仕事してたら分かるはずがない。おじいちゃん世代が決めでないで、子育てしている同世代の人に仕事させるべき。おじいちゃん世代は若い人の話を聞かないのはなぜ？</p>	【38歳、女性、既婚、1人】
<p>西小学校の児童数が多すぎる。</p>	【44歳、女性、既婚、3人】
<p>増税と待機児童…。個人企業で働いているため、増税になっても給料は上がりず、税金ばかり取られます。子どもを産んでも待機児童になってしまったら働けないので、生活のことを考えると、まだ子どもがほしいとは思えません。</p>	【29歳、女性、既婚、0人】
<p>子どもは特に学校が休みの土日、急に具合が悪くなります。とにかく病院を何とかしてもらいたい。【42歳、女性、結婚している、子ども2人】</p>	
<p>岩沼市には、小さい子どもが遊ぶ公園や施設が充実していないと思う。</p>	【39歳、女性、既婚、2人】

<p>岩沼市は出産・子育てはしやすい環境にあると思います。希望としては明るくて広い公園がもっとあってほしい。これは子育て世代に限ったことではないです。また核家族が多いので、少しの時間でも子どもの面倒を見てもらえる場があれば助かります。</p>	【34 歳、男性、既婚、2 人】
<p>生まれてきた命には差もなく罪もない。医療体制や保育教育環境の整備充実を図って安心して育つように支援すべきであろうと考えます。</p>	【45 歳、男性、既婚、0 人】
<p>妊娠は女性のエネルギーと夫婦の愛が不可欠という人もいます（医学的根拠というよりも、これまでの経験則なのでしょう）。職場では守られていても（マタハラ等ありますが）、家庭内では様々な負担が多いのではないかと思います。女性のエネルギーを奪ってしまわない環境で出産子育てができるようになれば、愛も生まれるのではないのでしょうか。</p>	【48 歳、女性、既婚、0 人】
<p>健診無料券があるのはとても助かる、が、自己負担で受ける検査がいくつかあるのでそれも無料券使用対象にしてもらえるとなおありがたい。</p>	【37 歳、男性、既婚、3 人】
<p>3 人目がほしいと皆思うようなサービス、支援（金銭的含）が必要だと思います。助成ばかり育休をとって働き方を変えて（正社員からパートなど）、不公平だと思います。男性ももっと子育てに参加すべきです。</p>	【29 歳、女性、既婚、0 人】
<p>一時保育をお願いしたい時期に空きがないという話で他を探さなくてはいけなく、金銭的にも大変な時がありました。もっと公的なサービスがあればと思いました。</p>	【36 歳、女性、既婚、3 人】
<p>一人目の子どもが保育所に通っていて二人目を産出して産後 2 ヶ月程度で、二人目を保育所にあずけて職場復帰しないと退所させられようというルールは保育所という性質上当たり前なのかもしれないが、実際の所、産後すぐの復帰は母体にとってキツイし母乳育児も継続するのが難しいし、保育所によっては首が座ってからでないで預かってもらえないような所もあるので本音としては厳しい。仙台市みたいに独自ルールで、1 歳になるまでは預けられるというルールに変えて欲しい。そのために保育士の待遇を良くして欲しくしの充実にも努めて欲しい。</p>	【33 歳、女性、既婚、1 人】
<p>こちら小さい時から出産、子育てについて教えていくと良いと思います。出産、子育ては大変なこと（もちろんそうですが）、お金がかかるという負のイメージが大きくなっている気がします。大変だけれど、素晴らしいことだということを小さい時から学んでいけば自然に結婚～出産をイメージできるのではないかと思います。</p>	【45 歳、女性、既婚、2 人】
<p>公園が街中にない。あっても遊具がほとんどなく子どもが外で遊べない。公園が草木が生え放題で綺麗でない。救急の病院がないので、夜何かあった時困る。</p>	【34 歳、女性、既婚、1 人】
<p>特別児童手当＝離婚手当てでは？【35 歳、男性、結婚したが死別または離別している、子ども 2 人】</p>	
<p>ちゃんと育休や産休が取得できる会社に就職できれば出産や子育ても考えると思いますが、仕事をやめてまで出産したいとは今は思いません。</p>	【22 歳、女性、未婚、0 人】
<p>出産子育ては人生の中で一番大事で大変なことなので社会が手助けしてくれる世の中であって欲しい。</p>	【36 歳、女性、未婚、0 人】
<p>保育所等を増やせばいいというもんだではないのでは。最近では生後何ヶ月で預ける母親もいらっしやるとか。</p>	【31 歳、女性、未婚、0 人】
<p>全員とはいわずとも、第 3 子以降は何かしら助成や支援金が出るとありがたいと思います。給食費の無償や幼稚園の無償など。</p>	【33 歳、女性、既婚、4 人】

私の一人目が出来て、出産した時、会社が安定しなくなり転職、その時なかなか保育園に入れず、就職活動が出来なくて苦労しました。最近は分かりませんが、保育園に入れないと面接にも行けない時もあるので、そこの受け入れを考えてほしいと思いました。

【44 歳、男性、既婚、1 人】

## ○その他

岩沼市内は老人ホームが多いが、障害児に対しての興味ないと感じます。もっと健常者と障がい者の境をなくして欲しいです。ちなみにグレーゾーンの子もたちが一番大変で行き場をなくしています。せめて学校での。

【43 歳、女性、岩沼西小学校区】

朝日地区の宅地生成が落ち着きましたが、西小、西中のキャパは大丈夫でしょうか。

【30 歳、男性、岩沼西小学校区】

学校の部活動に専門の外部コーチを入れて子どもにきちっとしかも楽しく指導してもらいたい。

【47 歳、女性、岩沼西小学校区】

道路を広く、小さな子供、年よりでも安心して歩けるような道路も多く作って欲しい。

【45 歳、男性、岩沼小学校区】

岩沼は学力が低いという評価があります。引っ越しも子どもの学校を考え、岩沼を避ける人もいます。進学校へ多数入学させる中学校が一校でもあれば面白いと思います。

【44 歳、女性、岩沼西小学校区】

結婚も出産、子育ても全てはお金。お金が無いと何も出来ないと思う。お金を得るためには仕事をしなければならない。仕事をするには健康でなくてはならない。私は体を壊し（仕事も原因の一つ）、まだ新しい仕事できないでいる。そんな今だからこそお金の大切さや健康体でいる必要性を日々痛感しています。

【24 歳、女性、岩沼南小学校区】

1、車を運転するのですが、年配の方の交通ルールを守らない現場を見ることが多く危険を感じます。道路逆走など。2、道路が新しく出来るのは大変嬉しいのですが、信号がないと事故が怒りやすいので早く対応してほしいです。3、自転車運転について。最近報道されましたが、道幅の狭い道路で年配の方がよろよろと車道を走るとかえって危険かと思えます。岩沼ですと時間帯によっては歩道を歩く人はいないので自転車も歩道を走ったほうが良いのではないのでしょうか。

【32 歳、女性、岩沼西小学校区】

妊娠届での時にいろいろな制度の案内でパンフレットを貰うように、入籍の届け出の時にも、改めて、市の紹介や制度、サービスなどの案内があると良いと思う。また、これから子どもがほしい人へ子どもが中々出来ない時は早めに病院で相談するよう促す文書や、産院の案内、子育て支援の内容がわかる冊子なども配ることで、子育てへのイメージがわきやすく子育てへの希望が持てるのではないのでしょうか。

【36 歳、女性、岩沼小学校区】

車がないと、買い物にも行けない（その分名取に買い物に行ってしまう。ガソリンスタンドも）。近くに教育施設（子どもの習い事）がないため、子育て世代に力を入れ、人数（子ども）が少ない分、教育の力を入れ、岩沼地区（特に玉浦）のレベルを上げて欲しい（小学校、中学校とも同じくらいなので逆にレベルを上げやすいと思う）。バイパスを超えると色々充実しているように思うが、バイパスを超えるより、名取のほうが近い。医療施設や教育施設の充実を願います（玉浦地区に）。津波の不安があっても住み続けたいと思うメリットです。

【37 歳、女性、玉浦小学校区】

公園がない。旭山もグリーンピアも遊べなくなった。

【30 歳、女性、岩沼西小学校区】

保育園の先生の給料も上げてあげたら男性保育士も増えると思いますが。安くて生活ある人は生活が成り立たないので上げて欲しい。

【34 歳、女性、岩沼小学校区】

女性だけでなく男性も自分自身のこととして考えて欲しい。	【29 歳、女性、岩沼小学校区】
あらゆる方面において日本全体を含む公共団体に対する不信感が高まっているように思います。もっといい時代、社会にあることをただただ祈るばかりです。	【22 歳、男性、岩沼西小学校区】
子どもがいるだけで仕事もせず、手当をもらうのはおかしい。独身者は仕事をし税金を支払い何の報酬もない。おかしい。出産を何度しても入籍せず、仕事もせず、生活保護をもらい、生活している人もいる。もっと厳しく審査、チェックするべき。	【42 歳、女性、岩沼西小学校区】
幼稚園の「2 人目半額」というのが少し前から言われていますが、どうなったんでしょうか？ほかの県では今年度から「子ども保育園」なども始まっているようですが、岩沼はどうなんでしょうか？女性には産める年齢が限られているので、早め早めに進めてほしいです。	【33 歳、女性、岩沼西小学校区】
わが子はだいぶ大きくなり、外遊びをする年齢ではなくなってきたが、子どもが公園で遊ぶ姿をあまり見かけなくなりました。安全な市であってほしいと思います。子どもの元気な声が聞こえないまちは将来が心配です。あと、公園に時計があるといいと思います。南児童公園は遅くまで子ども、中学生が遊んでいるので。	【39 歳、女性、岩沼南小学校区】
市役所の方の対応が良くてびっくりしました。今まで県内外、いろいろな役所に行きましたが、一番親切で感じがいいです。これからもずっと親切な役所でいてください。あと、うちは夫が脳梗塞で治療中なのですが、そういう人が安心して病院にかかれるというか、不安な状態のときにすぐ見てもらえる医療体制があると安心ですが…。	【42 歳、女性、岩沼西小学校区】
市議会議員、県議会議員、国会議員よりも子どもを産んで育てる人々の方が、よっぽどすごいと思う。	【38 歳、男性、岩沼西小学校区】
市民に関する支援の充実と税金を安くしてほしい。	【38 歳、男性、岩沼小学校区】
集会所を安く利用できたらうれしいです。町内会以外、違う地区の人が一人でもまぎれば使用料がかかるので、子どもを連れて使える場所が、もう少しあればいいなあと思います。	【39 歳、女性、岩沼南小学校区】
格差がありすぎるので、何とかならないかねえ。国の考えだから無理ですか？自分で頑張らないとですけど、差がありすぎると思います。	【40 歳、男性、岩沼小学校区】
10 年前で考えてみると、今は子育てがしやすい環境になっていると思います。「子育てしているんだから、何でもやってもらうのが当たり前」の世の中になっていると思います。良いことではあるが、感謝の気持ちが大変だと思います。岩沼は住みやすいし気候もいいし、そういう場所で子育てできていることにいつもありがたいと感じています。	【46 歳、女性、岩沼小学校区】
子育てに男性がかかわるような催し物、講座が身近なところであるといい（例えば職場の中で）。子育てに参加することによりポイントを与え、それを溜めると好きなものや食べ物に変えることができるような楽しみながらかかわっていくようにすれば、あまり抵抗なく進んで子育てに参加してくれると思う。	【46 歳、女性、岩沼西小学校区】
屋外の（市民）プールをつくってほしい。	【35 歳、男性、岩沼西小学校区】
医療費助成が 10 月から 4 年生以上も受けることができ助かりますが、ほかの市町村ではもっと早くからあったのでとてもうらやましくて、岩沼は嫌だと思った。インフルエンザの予防接種も助成金が出れば助かる。3 人分×2 回は高い金額です。給料が上がらないのに生活物資値上がりし、医療費も高い。助成金がないと生活できません。高校無償もないので大変困ります。	【47 歳、女性、岩沼小学校区】

<p>駅前の道路が、車も多いし狭くて危ないと思います。小学生が通学していますが、見ていて危なく感じます。名取が丘のように朝や帰りの時間にボランティアで見回りたいみたいなものをつくって、子どもが通学しやすくしてあげたいと感じています。</p>	<p>【29 歳、女性、岩沼西小学校区】</p>
<p>自分は仕事（社員）を休まずに真面目に行っているものです。民間企業のサラリーマンの給料が上がらないことには、世の中の消費も上がらず、何もできないと考える。自信もなく結婚も考えない。結婚しても子どもはいる…など。育てられないとマイナスばかり考えてしまう。自分は結婚しているが、決して暮らしは楽ではない。妻一人子一人養うだけで一杯だ。今は妻も自分も元気だが、どちらかの収入がなくなったら子どもの子育てにかけられるお金（習い事や幼稚園）など辞めなくてはいけなくなると思う。だから今のうちに預金したいと頑張っているが、給料上がらず、物価だけ上がる。回らず、売り上げや業績につながらない。とりあえず今だけを生きている感じで先が不安。年金ももらえるのか？</p>	<p>【37 歳、男性、岩沼南小学校区】</p>
<p>夕食まで面倒を見てくれる放課後クラブがあると仕事しやすい。認可外でも私立でも何でもいいので小学生対応の下校から 7～8 時まで預かってくれる施設がほしい。6 時までにお迎えに行ける職場ってあまりないと思う。子育てしながらもしっかり仕事をして、肩身の狭い思いはしたくないとつくづく思っている。</p>	<p>【44 歳、女性、岩沼小学校区】</p>
<p>市民が行政に向けて意見を言える機会はないので、無作為抽出でもこのようなアンケートをとっていただいて、とても有意義だと思います。今後も住みよい未来ある岩沼市になるよう、よろしくお願いします。</p>	<p>【32 歳、男性、玉浦小学校区】</p>
<p>アンケートは非常に有効だと思います。どんな小さな意見も軽視せず、すてきなまちづくり、期待しております。</p>	<p>【27 歳、男性、岩沼小学校区】</p>
<p>放射能が気になる。風化させないでほしい。食べ物なども。</p>	<p>【32 歳、男性、岩沼小学校区】</p>
<p>アンケート協力者への報酬。</p>	<p>【37 歳、男性、岩沼西小学校区】</p>
<p>病児保育施設サービスを増やすべき。子どもの予防接種すべて（任意も）助成金を出すべき。</p>	<p>【33 歳、女性、岩沼小学校区】</p>
<p>市役所の対応がうざい、のろい。住みにくい。</p>	<p>【39 歳、男性、岩沼南小学校区】</p>
<p>ハカみたいに高額な住民税を支払っている割に、住んでいる人間は割と胸張って岩沼はいいところだと外に言いにくい。他の地域からよく見られようとするアピールはすごいのに、メディア以外の内々の取り組みは薄い。住んで 10 年弱、軽薄な感じのする市政。外から来た人間も住みやすいのが一番いい地域なんじゃないかなと。いいところだなと思う地域見つけたら、何の躊躇もなくここから引っ越せると言うくらい執着はない。</p>	<p>【38 歳、女性、岩沼南小学校区】</p>
<p>岩沼西小学校区は子どもたちの人口が多過ぎると感じます。可能であればもう一つ小学校をつくるべきです。同様の問題に西小→西中と 9 年間顔ぶれが変わらない環境は、節目節目の緊張感が欠如し教育の効果が上がらないと考えます。</p>	<p>【38 歳、男性、岩沼西小学校区】</p>
<p>子育ての前に親の教育をした方がいい。常識のない親が多すぎると思う。先にも書いたが子ども望むにしろ、望まないにしろ、子どもがいない家庭のことももう少し考えてほしいと感じる。</p>	<p>【39 歳、女性、岩沼南小学校区】</p>
<p>結婚も出産も子育てもお金がかかります。情報もたくさんあるので、正しいか正しくないか、どうすればいいか迷い悩みます。行政の支援も大切ですが、各個人がどうしたいか自分の意見を持ち、それに対して行政の支援が各自求めるものに合うといいのではないのでしょうか。</p>	<p>【48 歳、女性、岩沼西小学校区】</p>
<p>子どもがほしくてもない家族もいる。子どものいる個人に手当や給付金を与えるようなことは不公平感</p>	



<p>がある。施設や医療体制の拡充、整備することの方が行政の役割と思う。人は子どもがいようがいまいが確実に老いて死ぬので、年金や介護など高齢になってからの手当ての方が重要だと思います。</p> <p style="text-align: right;">【45 歳、男性、岩沼南小学校区】</p>
<p>お金がなくとも幸福感の高い国もあり、お金があっても幸福感の少ない国もあります。国民・市民から集めた税金をいかに使うか、どこまで子育てに税金を投入するか。必要と無駄をしっかりと考えた上で実行に移してほしいものです。道路を整備しすぎて車の台数もスピードも右肩上がり。歩行者はおそろおそろ歩いています。空気は汚れ、アレルギー、花粉症、騒音で窓を開けてお昼寝もできない。良かれと思った道なのに、思わぬ弊害がついてくるものです。</p> <p style="text-align: right;">【48 歳、女性、岩沼西小学校区】</p>
<p>・小学校入学後の育成会での活動を増やして欲しい。予算が削減されているようなのでイベントの充実を図るためにも予算の増額を前向きに検討してもらいたい。・子供会活動が人数の現象により難しくなっている。全自動が加入するよう対策を講じてもらいたい。</p> <p style="text-align: right;">【37 歳、男性、岩沼小学校区】</p>
<p>アンケート集計頑張ってください。【22 歳、女性、岩沼小学校区】</p>
<p>近くに（歩いて行ける、気軽に行ける、ちょっと遊ばせたい）公園がない。公園になるであろう場所はあるが、草が生い茂り、ボール遊びすら出来る状態ではない。小学生も遊ぶ所がなく、道路で遊んでいるのがかわいそう。</p> <p style="text-align: right;">【33 歳、女性、玉浦小学校区】</p>
<p>我が家の場合、母がALSになり、その介護や先々の不安などから二人目をあきらめたのですが、無理にでももう一人作りたかったのが正直な答えです。しかし、作らない理由を母の病気のせいには出来ないと最近は考えています。やはり、作っておけば今はよかったと思います。</p> <p style="text-align: right;">【44 歳、男性、岩沼南小学校区】</p>
<p>中学生の子供がいますが、中総体やその他の大会の前でも部活動を週末土日どちらかに制限するのはやめてほしい。子供が部活に意欲的にとりくめるように、先生方も大変だが、支援してほしい。社会体育に任せすぎている感があり、もっと学校教育のよさを生かせるようにして下さい。</p> <p style="text-align: right;">【48 歳、男性、岩沼西小学校区】</p>
<p>子供の医療費についてですが、他県では小学校まで支援してもらっている所があります。小さい頃だけでなく小学校でも病院へ行くことも多いです。平等であってほしいと思います。助かります。</p> <p style="text-align: right;">【41 歳、女性、岩沼南小学校区】</p>

## 2. アンケート調査票

### 岩沼市人口ビジョン・総合戦略

#### 結婚と出産に関するアンケート調査ご協力をお願い

市民のみなさまにおかれましては、日ごろから市政の推進に多大なご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、岩沼市では地域課題の総合的解決と魅力あふれる地方創生を実現するため、今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を示す「人口ビジョン」及び「岩沼市総合戦略」の策定を行っており、少子高齢化対策や人口減少対策等の検討を進めております。

そこで、市民の方の結婚と出産についてのお考えを伺うためのアンケート調査を実施することにいたしました。ご回答いただきました内容は統計的な分析に使用し、将来の岩沼市の目指すべき方向への参考資料とさせていただきますと考えております。

何かとご多忙とは存じますが、調査の目的をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、このアンケート調査は無記名で行い統計的に処理しますので、回答者が特定されたり、個人の回答内容が公表されるなどご迷惑をおかけすることは一切ありません。岩沼市情報セキュリティポリシーに基づき、情報の適切な管理を行ってまいります。何とぞ、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 27 年 7 月

宮城県岩沼市長 菊地 啓夫

#### 記入にあたってのお願い

○このアンケートは市内に住む 18 歳以上の方から無作為抽出した 1,000 名を対象に送らせていただいています。宛先のご本人がご回答いただくようお願いいたします。

○回答はあてはまる項目を選んで、その番号を○印で囲んで下さい。また、直接記入していただく項目もあります。

○ご記入いただきました調査票は**平成 27 年 7 月 21 日（火）**までに同封の返信用封筒に入れて、密封後、郵便ポストへ投函してください（切手は不要です）。

#### 【この調査についての問合せ先】

○ご不明な点やご質問などがございましたら、下記までお問い合わせください。

岩沼市 総務部 政策企画課 政策係

電話：0223-22-1111（代表） ファックス：0223-24-0897

メールアドレス：seisakukakari@city.iwanuma.miyagi.jp

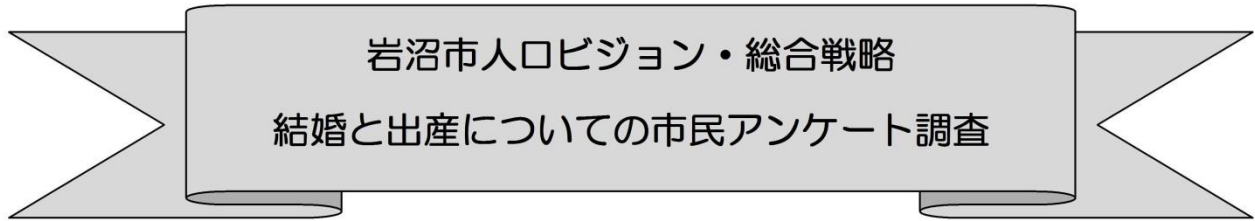
# 岩沼市人口ビジョン・総合戦略 アンケート調査の回答にあたって

- この調査は、本市における結婚、出産、子育ての現状と課題を調べるものです。今後のまちづくりを考えるうえで大切な資料となります。記載できる範囲で構いませんので、ご協力をお願いいたします。
- 『アンケート調査ご協力のお願い』をご覧になりご協力いただける場合は、必要事項をご記入のうえ、同封の返信用封筒にてご返信ください。
- アンケートは無記名で行い、かつ統計的に処理しますので、回答者が特定されたり、個人の回答内容が公表されるなど、回答者の方にご迷惑をおかけすることは一切ありません。
- 本調査にご不明な点やご質問などがございましたら、下記までお問い合わせください。

## 【問い合わせ先】

岩沼市 総務部 政策企画課 政策係

電話：0223-22-1111（代表） FAX：0223-24-0897



平成 27 年 6 月 1 日現在の状況をご回答ください。

◆はじめに、回答者ご自身について伺います。◆

問 1. あなたの性別をお伺いします。該当する番号 1 つを○で囲んでください。

- 1) 男性
- 2) 女性

問 2. あなたの年齢をお伺いします。平成 27 年 6 月 1 日現在の年齢を記入してください。

(          ) 歳

問 3. あなたの出生地をお伺いします。該当する番号 1 つを○で囲んでください。

- 1) 岩沼市
- 2) 岩沼市以外の宮城県内（市町村名：          ）
- 3) 県外（都道府県名：          市町村名：          ）

問 4. あなたが最後に卒業した（あるいは在学中の）学校と、卒業・在学の別について、該当する番号 1 つを○で囲んでください。

- <卒業した（または在学中の）学校>
- 1) 中学校
  - 2) 男女共学の高校
  - 3) 男女別学の高校
  - 4) 専修学校（高卒後）
  - 5) 短大・高専
  - 6) 女子大学
  - 7) 共学の大学
  - 8) 大学院
  - 9) その他（具体的に：          ）

- <卒業・在学の別>
- 1) すでに卒業
  - 2) 在学中（休学等を含む）

問 5. 岩沼市にお住まいになって何年ですか。該当する番号 1 つを○で囲んでください。

- 1) 1 年未満
- 2) 1 年以上 5 年未満
- 3) 5 年以上 10 年未満
- 4) 10 年以上 20 年未満
- 5) 20 年以上



問 11. 結婚を決めた直接のきっかけは何ですか。該当する番号2つまでを選び、最も近い順に並べてください。

- |                   |                      |
|-------------------|----------------------|
| 1) 結婚資金が準備できた     | 2) 生活のための経済的基盤ができた   |
| 3) 自分または相手の仕事の事情  | 4) できるだけ早く一緒に暮らしたかった |
| 5) 年齢的に適当な時期だと感じた | 6) できるだけ早く子どもが欲しかった  |
| 7) 子どもを授かった       | 8) 友人や同年代の結婚を見て      |
| 9) その他（具体的に；      | )                    |

1		2	
---	--	---	--

※9) その他を選んだ方は、具体的な理由をご記入ください。

---

問 12. 今後のお住まいについてどのようにお考えですか。該当する番号1つを○で囲んでください。

- |                     |                    |
|---------------------|--------------------|
| 1) 現在の住まいに住み続けたい    | 2) 市内の他の場所に持ち家が欲しい |
| 3) 市内の他の場所の賃貸に引越したい | 4) 市外に引越したい        |
| 5) その他（具体的に；        | )                  |



問 13. 問 12 で 4) に○をつけた方に伺います。【それ以外の方は問 23 (P7) 〜】市外に引越したい理由は何ですか。該当する番号3つまでを選び、最も近い順に並べてください。

- |                  |                     |
|------------------|---------------------|
| 1) 通勤・通学などの交通が不便 | 2) 職場や学校が遠い         |
| 3) 働きたい会社・仕事がない  | 4) 戸建て住宅を持ちたい       |
| 5) 家賃が高い         | 6) 自然環境が悪い          |
| 7) 子育て・教育環境が不十分  | 8) 医療・福祉サービスが不足している |
| 9) 買い物不便         | 10) 治安やまちの雰囲気が悪い    |
| 11) 親族や知人が近くにいない | 12) その他             |

1		2		3	
---	--	---	--	---	--

※12) その他を選んだ方は、具体的な理由をご記入ください。

---

問 23 (P7) へお進みください

※問9で2) または3) に○をつけた方に伺います

問 14. 問9で2) または3) に○をつけた方に伺います。将来的にあなたの結婚に対するお考えはどちらに近いですか。該当する番号1つを○で囲んでください。

- 1) いずれは結婚したい ⇒ 問 15 へ      2) 結婚するつもりはない ⇒ 問 20(P6) へ

問 15. 問 14で1) に○をつけた方に伺います。現在、独身でいる理由は何ですか。該当する番号を3つまで選び、最も近い順に並べてください。

- 1) 結婚するにはまだ早い                      2) 結婚する必要性をまだ感じない  
3) 今は仕事(または学業)等を重視したい    4) 趣味や娯楽を楽しみたい  
5) 独身の自由さや気楽さを失いたくない    6) 適当な人とまだ出会っていない  
7) 異性とうまくつきあえない                8) 結婚資金が足りない  
9) 結婚生活のための住居がない            10) 親や周囲の同意が得られない  
11) すでに結婚が決まっている              12) その他

1		2		3	
---	--	---	--	---	--

※12) その他を選んだ方は、具体的な理由をご記入ください。

問 16. 現在の希望として、将来結婚したらどこで暮らしたいですか。該当する番号1つを○で囲んでください。

- 1) 岩沼市内 ⇒ 問 18(P5) へ      2) 仙台市  
3) 名取市                              4) その他の宮城県内(市町村名:                      )  
5) 県外(都道府県名:                      市町村名:                      )

問 17. 問 16で2)、3)、4)、5) に○をつけた方に伺います。岩沼市以外に住みたい理由は何ですか。該当する番号を3つまで選び、最も近い順に並べてください。

- 1) 通勤・通学などの交通が不便              2) 職場や学校が遠い  
3) 働きたい会社・仕事がない                4) 戸建て住宅を持ちたい  
5) 家賃が高い                                  6) 自然環境が悪い  
7) 子育て・教育環境が不十分                8) 医療・福祉サービスが不足している  
9) 買い物が不便                                10) 治安やまちの雰囲気が悪い  
11) 親族や知人が近くにいない              12) その他

1		2		3	
---	--	---	--	---	--

※12) その他を選んだ方は、具体的な理由をご記入ください。

問 18. 将来結婚したら父母（義父母）と同居または近居しますか。該当する番号1つを○で囲んでください。

※近居：車で10分程度以内の距離に住むことを指します

- 1) 同居したい
- 2) 近居したい
- 3) 同居・近居したくない
- 4) 決めていない



※同居・近居したくない具体的な理由をご記入ください

--

問 19. 結婚のために行政に望むことは何ですか。重視して取り組むべきだと思うことについて、該当する番号を3つまで選び、最も近い順に並べてください。

- 1) 結婚祝い金の支給
- 2) 出会いの場・婚活イベントの提供
- 3) 新婚夫婦対象の住宅提供、補助金支給
- 4) 結婚相談窓口の設置
- 5) 交際術、結婚観等の講座の開催
- 6) 特に必要ない
- 7) その他

1		2		3	
---	--	---	--	---	--

※7) その他を選んだ方は、具体的な理由をご記入ください。

---

問 23 (P7) へお進みください



※問 14 で 2) に○をつけた方に伺います

問 20. 問 14 で 2) に○をつけた方に伺います。その理由は何ですか。該当する番号を 3 つまで選び、最も近い順に並べてください。

- |                    |                     |
|--------------------|---------------------|
| 1) 経済的負担が大きくなる     | 2) 結婚相手として適当な人がいない  |
| 3) 恋愛が面倒、うまく付き合えない | 4) 経済的なこと以外の責任が重くなる |
| 5) 自分の時間を失いたくない    | 6) 仕事との両立が難しい       |
| 7) 雇用が不安定          | 8) 親や周囲の同意が得られない    |
| 9) 姓を変えるのに抵抗がある    | 10) 子育てに自信がない       |
| 11) その他            |                     |

1		2		3	
---	--	---	--	---	--

※11) その他を選んだ方は、具体的な理由をご記入ください。

問 21. 今後のお住まいについてどのようにお考えですか。該当する番号 1 つを○で囲んでください。

- |                     |                    |
|---------------------|--------------------|
| 1) 現在の住まいに住み続けたい    | 2) 市内の他の場所に持ち家が欲しい |
| 3) 市内の他の場所の賃貸に引越したい | 4) 市外に引越したい        |
| 5) その他（具体的に；        | )                  |



問 22. 問 21 で 4) に○をつけた方に伺います。市外に引越したい理由は何ですか。該当する番号を 3 つまで選び、最も近い順に並べてください。

- |                  |                     |
|------------------|---------------------|
| 1) 通勤・通学などの交通が不便 | 2) 職場や学校が遠い         |
| 3) 働きたい会社・仕事がない  | 4) 戸建て住宅を持ちたい       |
| 5) 家賃が高い         | 6) 自然環境が悪い          |
| 7) 子育て・教育環境が不十分  | 8) 医療・福祉サービスが不足している |
| 9) 買い物不便         | 10) 治安やまちの雰囲気が悪い    |
| 11) 親族や知人が近くにいない | 12) その他             |

1		2		3	
---	--	---	--	---	--

※12) その他を選んだ方は、具体的な理由をご記入ください。

※改めてみなさんにお聞きします。

◆出産について伺います。◆

問 23. あなたは、将来的に何人のお子さんを望んでいますか。現在いるお子さんも含めた人数を記入してください。結婚されていない方は理想の人数をお答えください。

(                    ) 人

問 24. あなたは、現在何人のお子さんがいますか。人数を記入してください。結婚されていない方などお子さんがいない方は「0」とお答えください。

(                    ) 人

問 25. 理想の人数よりも現在のお子さんが少ない方にお聞きします。その要因は何だと思いますか。該当する番号を3つまで選び、最も近い順に並べてください。

- |                  |                    |
|------------------|--------------------|
| 1) 収入が不安定        | 2) 子育てや教育にお金がかかる   |
| 3) 家が狭い          | 4) 自分の仕事に差し支える     |
| 5) 家事・育児の協力者がいない | 6) 保育所など子どもの預け先がない |
| 7) 今いる子どもに手がかかる  | 8) 自分や夫婦の生活を大切にしたい |
| 9) 年齢や健康上の理由     | 10) まだ結婚していない      |
| 11) その他          |                    |

1		2		3	
---	--	---	--	---	--

※11) その他を選んだ方は、具体的な理由をご記入ください。

---

問 26. 妊娠・出産のために行政に望むことは何ですか。重視して取り組むべきだと思われることについて、該当する番号を3つまで選び、最も近い順に並べてください。

- |                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| 1) 出産祝い金の支給        | 2) 育児休業を取得しやすい職場環境 |
| 3) 不妊治療に対する支援      | 4) 妊娠・出産のための医療体制   |
| 5) 妊婦健診・乳幼児健診などの充実 | 6) 保育所の待機児童の解消     |
| 7) 特に必要ない          | 8) その他             |

1		2		3	
---	--	---	--	---	--

※8) その他を選んだ方は、具体的な理由をご記入ください。

---

問 27. 子育てのために行政に望むことは何ですか。重視して取り組むべきだと思うことについて、該当する番号を3つまで選び、最も近い順に並べてください。

- |                  |                       |
|------------------|-----------------------|
| 1) 市独自の子育て支援金の支給 | 2) 公園や子育て支援施設の充実      |
| 3) 子育てに関する情報提供   | 4) 子育てのための医療体制        |
| 5) 子育て世代の住宅面の支援  | 6) 病気の子供を預かる保育サービスの充実 |
| 7) 教育環境の充実       | 8) 地域コミュニティによる支援      |
| 9) 特に必要ない        | 10) その他               |

1		2		3	
---	--	---	--	---	--

※10) その他を選んだ方は、具体的な理由をご記入ください。

◆その他、結婚、出産、子育てについて、日頃お考えになっていることがあれば、ご自由にお書きください。

○結婚

.....  
.....  
.....  
.....  
.....

○出産・子育て

.....  
.....  
.....  
.....  
.....

○その他

.....  
.....  
.....  
.....  
.....

以上で質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。

平成 27 年度版 【小学校区と行政区、字名等の対比表】

学校名	通学区域	
	行政区	字・小字名
岩沼小学校	<p>稲荷町、二木第一、二木第二、大手町、中央一丁目第一、中央一丁目第二、中央一丁目第三、中央二丁目、中央三丁目第一、中央三丁目第二、中央四丁目第一、中央四丁目第二、中央四丁目第三、館下第一、館下第二、桜第一南、桜第一西、桜第一東、桜第二、桜第三、桜第四、桜第五、相の原、相の原第二、相の原第三、相の原団地、栄中央の一部（中央三丁目及び中央四丁目の区域）、末広、梶橋、下野郷上</p>	<p>稲荷町、本町（1番（2号・4号・5号）・7番（27号～32号））、二木一丁目（1番・2番・3番・4番（20号・22号）・5番（3号・5号・24号）を除く）、二木二丁目、大手町、中央一丁目、中央二丁目、中央三丁目、中央四丁目、館下一丁目、館下二丁目、館下三丁目、桜一丁目、桜二丁目、桜三丁目、桜四丁目、桜五丁目、相の原一丁目、相の原二丁目、相の原三丁目、末広一丁目、末広二丁目、梶橋、押分（字孫助原の一部）、下野郷（糶内、江口の一部、上中筋、中境の一部、前條の一部、杉ノ下前）</p>
玉浦小学校	<p>寺島、蒲崎南、蒲崎北、新浜、早股上、早股中、早股下、早股下二、長谷釜、林一、林二、二野倉、下野郷下、矢野目上、矢野目中、矢野目下、矢野目下二、相野釜、藤曾根</p>	<p>寺島、早股、押分（奥山、北新田、北土手、新田東、新筒下、須加原、中新田、中埜、西土手、沼前、鼠喰、南谷地）、下野郷（相野谷地、出雲屋敷、江口の一部、上筒天、北谷地、指ノ下、新関迎、新拓、新田、新畑、新南長沼、高大瀬、竹ノ内、館内、館外、中北谷地、中境の一部、長塚、中筒天、中野馬場、中谷地、西北谷地、西原、花立、浜、東北谷地、東長沼、菱沼、藤曾根、前條の一部、間堀）、空港南一丁目、空港南二丁目、空港南三丁目、空港南四丁目、空港南五丁目</p>
岩沼西小学校	<p>北長谷南、北長谷北、松ヶ丘第一、松ヶ丘第二、三色吉南、三色吉中、三色吉北、千貫団地、平等団地、長岡上、長岡下、小川上、小川下、志賀上、志賀中、志賀下、栄町北、栄町中央の一部（中央三丁目及び中央四丁目の区域を除く）、栄町南、栄町東、土ヶ崎第一北、土ヶ崎第一南、土ヶ崎第二、土ヶ崎第三、たけくま第一西、たけくま第一東、たけくま第二、たけくま第三、朝日西、朝日東</p>	<p>南長谷字中ノ崎、北長谷、三色吉、竹の里一丁目、竹の里二丁目、平等一丁目、平等二丁目、平等三丁目、平等四丁目、松ヶ丘一丁目、松ヶ丘二丁目、松ヶ丘三丁目、松ヶ丘四丁目、長岡、小川、志賀、栄町一丁目、栄町二丁目、栄町三丁目、朝日一丁目、朝日二丁目、土ヶ崎一丁目、土ヶ崎二丁目、土ヶ崎三丁目、土ヶ崎四丁目、敷島、大和、山桜、朝日、荒井、東谷地、武隈、たけくま一丁目、たけくま二丁目、たけくま三丁目</p>
岩沼南小学校	<p>原、玉崎上、玉崎下、根方南、根方北、吹上第一西、吹上第一東、吹上第二、吹上第三、桑原第一、桑原第二、桑原第三、阿武隈、阿武隈団地、藤浪、本町第一、本町第二、押分、里の杜北、里の杜南、押分団地</p>	<p>南長谷（中ノ崎を除く）、大昭和、吹上一丁目、吹上二丁目、吹上三丁目、吹上西、吹上南、西六角、桑原西一丁目、桑原一丁目、桑原二丁目、桑原三丁目、桑原四丁目、阿武隈一丁目、阿武隈二丁目、藤浪一丁目、藤浪二丁目、本町（1番（2号・4号・5号）・7番（27号～32号）を除く）、二木一丁目（1番・2番・3番・4番（20号・22号）・5番（3号・5号・24号））、押分（御伊勢原、御伊勢南原、北光谷、志引、新光谷、中光谷、孫助原の一部、間畑、水先、南光谷、与奈）、里の杜一丁目、里の杜二丁目、里の杜三丁目</p>